

受賞報告会

8:30-10:30

1. 精神医学奨励賞

司会：社会医療法人あさかホスピタル
獨協医科大学精神神経医学講座

佐久間 啓
古郡 規雄

京都大学医学部附属病院精神科神経科

稲葉 啓通

2. 国際学会発表賞

司会：東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 精神行動医科学

高橋 英彦

個人発表部門

東京慈恵会医科大学精神医学講座／量子医科学研究所 脳機能イメージング研究部

互 健二

東京慈恵会医科大学附属病院精神神経科／

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部

内海 智博

国立精神・神経医療研究センター病院 司法精神診療部

山田 悠至

シンポジウム組織発表部門

奈良県立医科大学精神医学講座

山室 和彦

名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科

加藤 秀一

3. フォリア賞

司会：順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学／医学部精神医学講座
東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 精神行動医科学

加藤 忠史
高橋 英彦

東京大学大学院総合文化研究科進化認知科学研究センター／

東京大学心の多様性と適応の連携研究機構

中村 優子

4. PCN Reviewer Awards

司会：東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 精神行動医科学

高橋 英彦

あおきクリニック

青木 悠太

筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

根本 清貴

岐阜大学大学院医学系研究科 精神医学

大井 一高

九州大学大学院医学研究院 附属総合コホートセンター

本田 貴紀

Department of Psychiatry, Kaohsiung Municipal Siaogang Hospital /

Department of Psychiatry, Kaohsiung Medical University Hospital

Ko, Chih-Hung

一般社団法人 臨床疫学研究推進機構

奥村 泰之



Technical University of Munich, Department of Psychiatry and Psychotherapy	慈光会若久病院	門司 晃
福岡大学医学部精神医学教室		野村 信行
大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室		菅原 裕子
関西医科大学医学部精神神経科学講座		高橋 隼
順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学		嶽北 佳輝
奈良県立医科大学精神医学講座		八田 耕太郎
産業医科大学精神医学		岡田 俊
		吉村 玲児

5. PCN Reports 最優秀論文賞

司会：関西医科大学精神神経科

木下 利彦

金沢大学子どものこころの発達研究センター

長谷川 千秋

6. PCN Reports Best Reviewer Awards

司会：富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座

鈴木 道雄

愛媛大学大学院医学系研究科児童精神医学

河邊 憲太郎

7. PCN Reports Reviewer Awards

司会：富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座

鈴木 道雄

福岡大学医学部精神医学教室	堀 輝
特定医療法人さっぽろ悠心の郷ときわ病院	館農 勝
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 地域精神保健・法制度研究部	山口 創生
順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学	八田 耕太郎
関西医科大学医学部精神神経科学講座	嶽北 佳輝
防衛医科大学校精神科学講座	戸田 裕之
北里大学医学部精神科学	稲田 健
慶應義塾大学医学部・精神・神経科学教室／国際医療福祉大学三田病院	野田 賀
北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室	橋本 直樹
愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座	伊賀 淳一
京都大学大学院医学研究科健康増進・行動学分野	田近 亜蘭

6月21日(金) A会場(札幌コンベンションセンター 1F 特別会議場)

10:45-11:45 会長講演

司会：三村 将 慶應義塾大学予防医療センター

PL 真に役立つ精神医学：
当事者の人生の分岐点に立ち会うということ

○河西 千秋
札幌医科大学医学部神経精神医学講座



11:45-12:45 特別講演 1

司会：河西 千秋 札幌医科大学医学部神経精神医学講座

opening/closing remarks: Peter Taksøe-Jensen (デンマーク王国大使)

SL1 Psychiatry and suicide prevention

○Merete Nordentoft^{1,2}, Annette Erlangsen², Trine Madsen²

¹ University of Copenhagen

² Danish Research Institute for Suicide Prevention,
Mental Health Center Copenhagen



13:25-15:25 会長企画シンポジウム 1
東アジアの自殺対策における national policy と現況

司会：張 賢徳 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
河西 千秋 札幌医科大学医学部神経精神医学講座

PS1-1 自殺総合対策のパラダイムシフトを生んだ政策的枠組みの構築
～この20年で実現したこと、できなかったこと～

○清水 康之^{1,2}

¹ 一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター、

² 特定非営利活動法人自殺対策支援センターライフリンク



PS1-2 Suicide Prevention in South Korea
韓国の自殺予防

○ペク・ジョンウ、キム・ヘギョ

慶熙大学病院精神健康医学科





PS1-3

Current Situation and Challenges of Suicide Prevention in Taiwan

○Shih-Cheng Liao^{1,2}, Shu-San Chang^{3,4}, Lian-Yu Chen^{5,6}

¹ Department of Psychiatry, College of Medicine, National Taiwan University, Taipei, Republic of China (Taiwan)

² Department of Psychiatry, National Taiwan University Hospital Hsin-Chu Branch, Hsin-ChuCity, Republic of China (Taiwan)

³ Institute of Health Behaviors and Community Sciences, and Global Health Program, College of Public Health, National Taiwan University, Taipei, Republic of China (Taiwan)

⁴ Population Health Research Center, National Taiwan University, Taipei, Republic of China (Taiwan)

⁵ Department of Mental Health, Ministry of Health and Welfare, Republic of China (Taiwan)

⁶ Institute of Epidemiology and Preventive Medicine, College of Public Health, Taipei, Republic of China (Taiwan)



〈メインコーディネーター〉 張 賢徳

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

〈サブコーディネーター〉 河西 千秋

札幌医科大学医学部神経精神医学講座

15:40-16:40 特別講演 2

司会：三村 將

慶應義塾大学予防医療センター

SL2

Sustainable Mental Health Services

○Norbert Skokauskas

Regional Centre for Child and Youth Mental Health and Child Welfare, Faculty of Medicine and Health Sciences, Norwegian University of Science and Technology



16:40-17:40 教育講演 6

司会：前田 正治

福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座

EL6

Complex PTSD：概念を知り臨床に生かす

○大江 美佐里

久留米大学医学部神経精神医学講座



6月21日(金) B会場(札幌コンベンションセンター 1F 大ホール A)

8:30-10:30 一般シンポジウム 38

医療従事者のメンタルケアに向けたさまざまな取り組み

司会：河西 千秋 札幌医科大学医学部神経精神医学講座
藤澤 大介 慶應義塾大学医学部医療安全管理部／精神神経科／国立がん研究センター

S38-1 災害やパンデミック時の医療従事者のメンタルヘルス支援

○高橋 晶^{1,2,3}

¹筑波大学医学医療系災害・地域精神医学、²茨城県立こころの医療センター、
³筑波メディカルセンター病院精神科

S38-2 保健管理センターを拠点とした医療者のメンタルヘルス支援

○津山 雄亮^{1,2}、河西 千秋^{1,2}

¹札幌医科大学医学部神経精神医学講座、²札幌医科大学保健管理センター

S38-3 マインドフルネスとコンパッションに基づくストレス・燃えつき低減プログラム： MaHALO program

○藤澤 大介^{1,2}

¹慶應義塾大学医学部医療安全管理部／精神神経科、²国立がん研究センター

S38-4 自殺事故後のスタッフ・ケア

○柏木 智則¹、津山 雄亮^{1,2}、人見 敬子³、河西 千秋^{1,2}

¹札幌医科大学医学部神経精神医学講座、²札幌医科大学保健管理センター、
³札幌医科大学附属病院看護部

S38-5 医療事故後のスタッフケアとしてのピアサポート

○吉益 晴夫¹、矢内原 仁²、小林 正人³、永尾 るみ子⁴、川谷 弘子⁵、和田 仁孝⁶

¹埼玉医科大学総合医療センター神経精神科、²埼玉医科大学泌尿器科、
³埼玉医科大学脳神経外科、⁴一般社団法人日本ピアサポート協会、
⁵北里大学病院トータルサポートセンター、⁶早稲田大学法文学術院

〈メインコーディネーター〉 藤澤 大介 慶應義塾大学医学部医療安全管理部／精神神経科／
国立がん研究センター

〈サブコーディネーター〉 河西 千秋 札幌医科大学医学部神経精神医学講座



10:45-12:45 **一般シンポジウム 49**

日常診療でゲーム・ネット依存に対応するために

司会： 館農 勝 さっぽろ悠心の郷ときわ病院
樋口 進 国立病院機構久里浜医療センター

S49-1 ネット・ゲーム依存のアセスメントと治療について

○松崎 尊信¹、西村 光太郎¹、三原 聡子¹、北湯口 孝¹、館農 勝²、樋口 進¹
¹ 国立病院機構久里浜医療センター、² さっぽろ悠心の郷ときわ病院

S49-2 一般精神科外来でもできる ゲーム障害治療の実践

○白坂 知彦、常田 深雪
手稲溪仁会病院精神保健科

S49-3 救急病棟・多職種運営のゲーム・ネット依存治療プログラム
～家族教室及び予防教育授業の話題を添えて～

○鈴木 りほ、五十嵐 雪奈、鈴木 志穂、村山 由紀、道畑 柚希、三上 毅泰、渡邊 亜美、
藤原 智子、北川 成美、大沼 愛、間 良、田嶋 宣行、智田 文徳
社会医療法人智徳会未来の風せいわ病院

S49-4 社会的ひきこもりとゲーム・ネット依存：悪循環への理解と打開策の提案

○加藤 隆弘¹、久保 太聖¹、松尾 敬太朗¹、松島 敏夫¹、館農 勝²
¹ 九州大学大学院医学研究院精神病態医学、² 特定医療法人さっぽろ悠心の郷ときわ病院

S49-5 回復プログラム「iSwing」を用いたネット・ゲーム依存症治療の実際

○海野 順
医療法人社団光風会三光病院

〔指定発言者〕

○樋口 進
国立病院機構久里浜医療センター

〈メインコーディネーター〉 館農 勝 さっぽろ悠心の郷ときわ病院

〈サブコーディネーター〉 加藤 隆弘 九州大学大学院医学研究院精神病態医学

13:25-15:25 **委員会企画シンポジウム 14** (災害支援委員会)

災害派遣精神医療チーム DPAT 発足から 10 年、これからの災害精神支援の課題と展望

司会：高橋 晶
重村 淳

筑波大学医学医療系災害・地域精神医学／茨城県立こころの医療センター／筑波メディカルセンター病院精神科
目白大学保健医療学部

CS14-1 **DPAT 活動の歴史**

○福生 泰久^{1,2,3}

¹DPAT 事務局、² 神経科浜松病院、³ 藤田医科大学

CS14-2 **大災害後の精神科医療および精神保健活動の方法と課題：
DPAT 設立までの経緯を踏まえて**

○加藤 寛

兵庫県こころのケアセンター

CS14-3 **DPAT 活動における課題、精神保健福祉センターの視点から**

○福島 昇

新潟市こころの健康センター

CS14-4 **DPAT 体制と災害後長期の被災地域の心理社会的支援体制に関する課題と展望**

○富田 博秋^{1,2,3,4}、國井 泰人³、濱家 由美子³、日野 瑞城³、内海 裕介²、冨本 和歩²、
瀬戸 萌²

¹ 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野、² 東北大学病院精神科、

³ 東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野、⁴ 東北大学東北メディカル・メガバンク機構

CS14-5 **これまでの災害対応における DPAT 本部活動とこれからの活動への提言**

○松田 宏樹

国立病院機構本部 DMAT 事務局

〔指定発言者〕

○高橋 晶

筑波大学医学医療系災害・地域精神医学／茨城県立こころの医療センター／筑波メディカルセンター
病院精神科

〈メインコーディネーター〉 高橋 晶

筑波大学医学医療系災害・地域精神医学／
茨城県立こころの医療センター／
筑波メディカルセンター病院精神科

〈サブコーディネーター〉 重村 淳

目白大学保健医療学部



15:40-17:40 **一般シンポジウム 69**
リカバリーにおける働くことの意義とは

司会： 渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室
菊地 俊暁 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

S69-1 うつ病当事者にとって、働くこととリカバリーの関係とは

○ゆま
ReOPA

S69-2 双極性障害Ⅱ型当事者による働くことを通じてのリカバリー

○松浦 秀俊
双極はたらくラボ（株式会社リヴァ）

S69-3 企業内産業精神保健におけるリカバリーとは

○石井 留美
慶應義塾大学医学部

S69-4 よりよい就労・復職を目指すために～精神科産業医からの提案～

○阿竹 聖和
NTT 西日本健康管理センタ（九州エリア）

〔指定発言者〕

○菊地 俊暁
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

〈メインコーディネーター〉 渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室

〈サブコーディネーター〉 菊地 俊暁 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

6月21日(金) C会場(札幌コンベンションセンター 1F 中ホール A)

8:30-10:30 一般シンポジウム 39

精神医療における身体科領域の生涯教育のための AI・IT・アプリ技術の活用について

司会：清水 勇雄 阪南病院
俊野 尚彦 しまなみ産業保健事業所

S39-1 精神科専門医研修における AI・IT・アプリ技術の可能性

○宮野 史也

北海道大学病院精神科神経科

S39-2 生成 AI を用いた精神医学研究と臨床・教育への応用の展望

○山口 博行^{1,2,3}

¹ 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第七部、² 横浜市総合保健医療センター、
³ 横浜市立大学精神医学教室

S39-3 プライマリケアとデジタルデバイス ～藤田医科大学総合診療プログラムの取り組みについて～

○中込 雅人

豊田市・藤田医科大学連携地域医療学

S39-4 疾病構造の変化と医療情報の加速： アプリケーションの実装と患者中心の医療の実現

○溝江 篤

藤田医科大学連携地域医療学

S39-5 精神科医がベンチャー企業をつくった経験からの共有すべきこと

○物部 真一郎

アーキタイプベンチャーズ



S39-6

精神科医の身体診療についての生涯教育・臨床実践における
AI・IT・アプリ技術の活用

○清水 勇雄

医療法人杏和会阪南病院

〔指定発言者〕

○松坂 雄亮

長崎県精神医療センター／長崎大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経科学／岐阜大学大学院医学系研究科医療者教育学修士課程

〔指定発言者〕

○小野 正博

福島県立宮下病院

〔指定発言者〕

○俊野 尚彦

しまなみ産業保健事業所

〈メインコーディネーター〉 清水 勇雄 阪南病院

〈サブコーディネーター〉 俊野 尚彦 しまなみ産業保健事業所

10:45-12:45

一般シンポジウム 50

ECT 地域連携システムの構築とその将来像 ～ECTの均てん化に向けて～

司会： 竹林 実

熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座

安田 和幸

山梨大学医学部精神神経医学講座

S50-1

北海道におけるECTの課題と対策

○成田 尚

北海道大学病院精神科神経科

S50-2

福岡県におけるECTの実施状況と治療均てん化に向けた地域連携の課題

○飯田 仁志

福岡大学医学部精神医学教室

S50-3

広島県における電気けいれん療法ネットワーク
～Hiroshima ECT Meeting について

○大盛 航^{1,4,8}、高石 佳幸²、藤田 康孝³、古庄 立弥⁴、撰 尚之⁵、松岡 龍雄⁶、
和田 健⁷、町野 彰彦⁸、高畑 紳一⁹、岡田 剛¹

¹ 広島大学病院精神科、² 吉田総合病院精神科、³ 草津病院精神科、⁴ 瀬野川病院精神科、

⁵ 安佐市民病院精神科、⁶ 広島第一病院精神科、⁷ 広島市民病院精神科、

⁸ 呉医療センター・中国がんセンター精神科、⁹ 県立広島病院精神科

S50-4 近畿 ECT 連絡会の経験 - 活動の円滑化についての考察 -

○諏訪 太朗

京都大学大学院医学研究科脳病態生理学教室 (精神医学)

S50-5 難治性精神疾患への東京都地域支援体制構築事業

○野田 隆政

国立精神・神経医療研究センター病院

〔指定発言者〕

○小松 浩

東北大学大学院精神神経学分野

〔指定発言者〕

○和田 健

広島市立広島市民病院精神科

〈メインコーディネーター〉 竹林 実

熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座

〈サブコーディネーター〉 安田 和幸

山梨大学医学部精神神経医学講座

諏訪 太朗

京都大学大学院医学研究科脳病態生理学教室

(精神医学)



6月21日(金) D会場(札幌コンベンションセンター 1F 中ホール B)

8:30-10:30 一般シンポジウム 40

スポーツチームドクターとしての精神科医 トップアスリートに精神医学はどう関わるべきか

司会：西多 昌規 早稲田大学スポーツ科学学術院
山本 宏明 北里大学メディカルセンター精神科

S40-1 チームドクターとはなにか？ 役割と精神科医にとっての課題

○山本 宏明^{1,2}

¹北里大学メディカルセンター、²日本陸上競技連盟医事委員会

S40-2 チームドクターとしての国体チームとのかかわり

○北原 亜加利^{1,2}

¹あかりこどもクリニック、

²筑波大学人間総合科学学術院人間総合科学研究群スポーツ医学学位プログラム

S40-3 プロサッカークラブにおけるスポーツ精神科医の役割

○矢野 郁明^{1,2}

¹千葉大学大学院医学研究院精神医学、²ジェフユナイテッド市原・千葉レディース

S40-4 プロ野球チームでの精神科医チームドクターの役割

○水島 仁^{1,2}

¹北海道日本ハムファイターズ、²慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

S40-5 プロアスリートを対象とした睡眠医療から見えてくる精神科医の必要性

○白濱 龍太郎^{1,2,3,4}

¹医療法人 RESM、²慶應義塾大学先端科学技術研究センター、³福井大学医学部、

⁴日本サーフィン連盟医科学委員会、

〔指定発言者〕

○伊豫 雅臣

千葉大学大学院医学研究院精神医学教室

〈メインコーディネーター〉 西多 昌規 早稲田大学スポーツ科学学術院

〈サブコーディネーター〉 山本 宏明 北里大学メディカルセンター精神科

10:45-12:45 一般シンポジウム 51

精神疾患を理解する視点の多様化が研究、日常臨床、精神鑑定に及ぼす影響—DSM-5/ICD-11/RDoC

司会： 田口 寿子 神奈川県立精神医療センター
 柏木 宏子 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

S51-1 もうパラダイム・シフトは要らない!?
 – つぎはぎだらけの多元主義的精神医学の未来 –

○黒木 俊秀
 九州大学大学院人間環境学研究院臨床心理学講座

S51-2 病態に基づく診断基準を精神科領域に導入する戦略とは何か？

○橋本 亮太、伊藤 颯姫、松本 純弥、岡田 直大、根本 清貴、三浦 健一郎、橋本 直樹、大井 一高、高橋 努、肥田 道彦、山森 英長、藤本 美智子、長谷川 尚美、小池 進介、中村 元昭、岡田 剛、宮田 淳、沼田 周助、鬼塚 俊明、吉村 玲児、中川 伸、渡邊 嘉之、尾崎 紀夫、安田 由華
 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

S51-3 カテゴリーとディメンジョンの臨床的有用性—哲学的観点から

○榊原 英輔
 東京大学医学部附属病院精神神経科

S51-4 パラダイムシフトに翻弄される精神鑑定

○村松 太郎
 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

〈メインコーディネーター〉 柏木 宏子 国立研究開発法人国立精神・
 神経医療研究センター病院
 〈サブコーディネーター〉 田口 寿子 神奈川県立精神医療センター



6月21日(金) E会場(札幌コンベンションセンター 1F 104+105 会議室)

15:40-17:40 **Leaders Round Table** (国際委員会)
各国精神医学会リーダーの話し合い

司会：高橋 英彦 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学
秋山 剛 NTT 東日本関東病院

〈シンポジスト〉	Ramaswamy Viswanathan	President - Elect, American Psychiatric Association (President: May 2024-)
	Elizabeth Moore	President, Royal Australian and New Zealand College of Psychiatrists / Coordinator - General, The Office for Mental Health and Wellbeing, ACT Government
	Jen-Pang Wang Chih-Yun Hsu	President, Taiwanese Society of Psychiatry Taiwanese Society of Psychiatry / Resonance Psychiatric Clinic, Taiwan / National Taiwan University Hospital, Taiwan
	Chan-Seung Chung	Director, Social Responsibility Committee, Korean Neuropsychiatric Association
〈メインコーディネーター〉	秋山 剛	NTT 東日本関東病院
〈サブコーディネーター〉	高橋 英彦	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 精神行動医科学

6月21日(金) F会場(札幌コンベンションセンター 1F 107 会議室)

8:30-10:30 一般シンポジウム 41
「心の病が治る」とはどのようなことか？

司会：村井 俊哉 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学）

S41-1 治療と治癒の違いについて

○植野 仙経
京都大学大学院医学研究科精神医学教室

S41-2 精神医学における客体化と医学モデルの必要性

○榊原 英輔
東京大学医学部附属病院精神神経科

S41-3 「健常な苦悩」と「病的な苦悩」の区別は可能なのか？

○田所 重紀
札幌医科大学医学部神経精神医学講座

S41-4 関係的自己の世話と維持

○信原 幸弘
東京大学

〔指定発言者〕

○村井 俊哉
京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学）

〈メインコーディネーター〉 榊原 英輔 東京大学医学部附属病院精神神経科

10:45-12:45 Fellowship Award Symposium 4（国際委員会）
～ Case Vignette: Late-life Depression（ケースビネット：老年期うつ病）～

司会：Emily Oki Tokyo Metropolitan Matsuzawa Hospital

FAS4-1 The Health and Social Challenges Facing Older Adults Living Alone in Iran

○Marjan Shamspour
School of Medicine, Kerman University of Medical Sciences, Iran

FAS4-2 Addressing the Challenges of Loneliness and Social Isolation Among Elderly Individuals: Insights from Taiwan's Experience

○Kuan-Lun Huang
Tsaotun Psychiatric Center, Ministry of Health and Welfare, Nantou, Taiwan



FAS4-3 Discussion of loneliness in older persons and systems in Singapore

○Kenny Wai Kwong Lim
Institute of Mental Health, Singapore

FAS4-4 Approaches to older adults living alone in Japan

○Tasuku Katayama
Department of Psychiatry, Asahikawa Keisenkai Hospital, Japan

〈メインコーディネーター〉 伊井 俊貴 愛知医科大学病院
〈サブコーディネーター〉 秋山 剛 NTT 東日本関東病院

13:25-15:25 委員会企画シンポジウム 15 (国際委員会)
マイノリティのメンタルヘルス

司会： 高橋 英彦 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医学
秋山 剛 NTT 東日本関東病院

CS15-1 Lifestyle for Positive Mental and Physical Health

○Ramaswamy Viswanathan
President-Elect, American Psychiatric Association (President: May2024-)

CS15-2 Supporting the mental health of Trans and Gender Diverse people

○Elizabeth Moore^{1,2}
¹ President, Royal Australian and New Zealand College of Psychiatrists
² Coordinator-General, The Office for Mental Health and Wellbeing, ACT Government

CS15-3 Mental Health of Sexual Minority in Taiwan

○Chih-Yun Hsu^{1,2}, Jen-Pang Wang^{3,4}
¹ Taiwanese Society of Psychiatry Resonance Psychiatric Clinic, Taiwan
² National Taiwan University Hospital, Taiwan
³ Bethel Psychiatric Clinic, Taiwan
⁴ Bethel Dunnan Psychiatric Clinic, Taiwan

CS15-4 Bridging Divides: Psychoanalytic Perspectives on Gender, LGBTQI Identity, and Mental Health in Korea

○Chan-Seung Chung
Director, Social Responsibility Committee, Korean Neuropsychiatric Association

CS15-5 Social changes towards LGBT in Japan and the role of psychiatrists

○Katsuki Harima^{1,2}¹ Japanese Society of Psychiatry and Neurology² Harima mental clinic

〈メインコーディネーター〉 秋山 剛

NTT 東日本関東病院

〈サブコーディネーター〉 高橋 英彦

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
精神行動医科学

15:40-17:40 一般シンポジウム 70

地域で生活する当事者のリカバリーに寄与する精神科作業療法の視点

司会：石井 貴男
池田 望札幌医科大学保健医療学部作業療法学科
札幌医科大学保健医療学部作業療法学科

S70-1 精神科デイケアにおける作業療法士による研究と実践の動向

○森元 隆文

札幌医科大学保健医療学部作業療法学科

S70-2 ピアサポート事業における作業療法士による研究と実践の動向

○横山 和樹

北海道公立大学法人札幌医科大学保健医療学部作業療法学科

S70-3 作業療法士による精神科訪問支援—介入内容とリカバリーに与える影響—

○真下 いずみ^{1,2,3}¹ 藍野大学医療保健学部作業療法学科、² 長岡ヘルスケアセンター病院訪問看護アプリコット、³ 南山城学園サザン京都（京都府脱ひきこもり支援プロジェクト「チーム絆」）

S70-4 働くこととリカバリー：作業療法士が貢献できること

○大川 浩子^{1,2}¹ 北海道文教大学医療保健科学部、² NPO 法人コミュネット楽創

〔指定発言者〕

○阿部 幸弘

(公益財団法人) 北海道精神保健推進協会

〈メインコーディネーター〉 石井 貴男

札幌医科大学保健医療学部作業療法学科

〈サブコーディネーター〉 池田 望

札幌医科大学保健医療学部作業療法学科



6月21日(金) G会場(札幌コンベンションセンター 1F 108 会議室)

8:30-10:30 一般シンポジウム 42

精神科医療従事者からみる人権、法律家から見る精神科医療

司会：伊藤 順一郎 メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ
東 奈央 つぐみ法律事務所

S42-1 人権に関する一考察

○佐々木 信夫^{1,2}

¹ 日本弁護士連合会、² 佐々木信夫法律事務所

S42-2 日本の精神科病棟で医療を提供する立場の葛藤 ～人権擁護の観点から～

○上島 雅彦

竹田総合病院

S42-3 精神科医療従事者から見る人権 –生活の場での実践を通して–

○藤田 大輔

大和診療所

〔指定発言者〕

○高木 俊介

たかぎクリニック

〈メインコーディネーター〉 伊藤 順一郎 メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ

〈サブコーディネーター〉 渡邊 真里子 ちはやACTクリニック

10:45-12:45 一般シンポジウム 52

分散型臨床試験の促進を目指して：日本脳科学関連学会連合・タスクフォースからの提言

司会：住吉 太幹 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部／
国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部
小居 秀紀 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター情報管理・解析部

S52-1 NCNP における分散型臨床試験への取組みと展望

○住吉 太幹^{1,2}

¹ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部、

² 国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部

S52-2 精神科領域における DCT を推進するために
～様々な DCT 要素と精神科領域との親和性を考える～

○小居 秀紀

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター情報管理・解析部

S52-3 DCTの本格導入を踏まえた日本のオンライン診療、プログラム医療機器の現状の検討

○岸本 泰士郎

慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座

**S52-4 サイコオンコロジー領域における分散型臨床試験
- スマホ精神療法の有効性検証のためのランダム化比較試験**

○明智 龍男

名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

S52-5 がん領域でのフルリモート型 DCT の実装

○中村 健一

国立がん研究センター中央病院

〔指定発言者〕

○菊地 哲朗

大塚製薬株式会社

〔指定発言者〕

○中込 和幸

国立精神・神経医療研究センター

〈メインコーディネーター〉 住吉 太幹

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
児童・予防精神医学研究部／
国立高度専門医療研究センター
医療研究連携推進本部

〈サブコーディネーター〉 小居 秀紀

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
情報管理・解析部

中込 和幸

国立精神・神経医療研究センター

13:25-15:25 一般シンポジウム 61**精神・神経疾患とてんかんの病態的関連性 Update**司会： 曾根 大地 東京慈恵会医科大学精神医学講座
品川 俊一郎 東京慈恵会医科大学精神医学講座**S61-1 てんかんと精神症状アップデート：双方向的関係性を解き明かす**

○曾根 大地

東京慈恵会医科大学精神医学講座

S61-2 神経発達症とてんかんの病態的関連性○金村 英秋¹、中川 栄二²¹ 東邦大学医学部医学科小児科学講座（佐倉）、² 国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部



S61-3 てんかんと睡眠

○高木 俊輔
東京医科歯科大学精神行動医科学分野

S61-4 脳神経内科疾患のてんかん病態的関連性 Update

○久保田 隆文^{1,2}
¹ 東北大学病院てんかん科、² 東北大学大学院医学系研究科神経内科学分野

S61-5 認知症とてんかんの病態的関連

○品川 俊一郎
東京慈恵会医科大学精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 曾根 大地 東京慈恵会医科大学精神医学講座
〈サブコーディネーター〉 高木 俊輔 東京医科歯科大学精神行動医科学分野
品川 俊一郎 東京慈恵会医科大学精神医学講座

15:40-17:40 一般シンポジウム 71

集団精神療法と出会うには—教育と研修,そして実践へ

司会： 田辺 等 旭山病院

S71-1 治療的グループに惚れ込んで

○嶋田 博之
東日本少年矯正医療・教育センター

S71-2 グループ嫌いが集団精神療法（「体験グループ」）に出会ったら：
臨床家そして研究者としての礎の体得

○加藤 隆弘
九州大学大学院医学研究院精神病態医学

S71-3 総合病院における集団精神療法との出会いと学びについて

○衛藤 暢明、石田 匡宏、吉村 裕太、川寄 弘詔
福岡大学医学部精神医学教室

S71-4 体験的に学ぶということ—機能する精神科医になるために

○林 公輔
学習院大学文学部心理学科

〔指定発言者〕

○岡島 美朗
自治医科大学附属さいたま医療センター

〈メインコーディネーター〉 林 公輔 学習院大学文学部心理学科
〈サブコーディネーター〉 嶋田 博之 東日本少年矯正医療・教育センター

6月21日(金) H会場(札幌コンベンションセンター 2F 小ホール)

8:30-10:30 一般シンポジウム 43

精神科救急・急性期の興奮に対する最良の対応法とは？ 精神薬理学・病棟管理・行動制限最小化の観点から

司会： 八田 耕太郎 順天堂大学医学部附属練馬病院
杉山 直也 公益財団法人復康会沼津中央病院／一般社団法人日本精神科救急学会

S43-1 当院における高規格病棟変更後のPRNの変化（統合失調症を中心に）

○藤田 潔
桶狭間病院藤田こころケアセンター

S43-2 根拠に基づいたPRNの推奨は可能か？

○杉山 直也^{1,2}
¹ 公益財団法人復康会沼津中央病院、² 一般社団法人日本精神科救急学会

S43-3 身体的拘束削減下で生まれたPRN（臨機）な病棟対応

○今井 淳司
東京都立松沢病院

S43-4 精神科救急医療ガイドラインにおける焦燥・興奮に対する薬物療法

○八田 耕太郎
順天堂大学医学部附属練馬病院

〔指定発言者〕

○兼行 浩史
山口県立こころの医療センター

〈メインコーディネーター〉 八田 耕太郎 順天堂大学医学部附属練馬病院
〈サブコーディネーター〉 杉山 直也 公益財団法人復康会沼津中央病院／
一般社団法人日本精神科救急学会

10:45-12:45 一般シンポジウム 53

卒前から卒後へのシームレスな医学教育に精神医学が真に役立ちうるには

司会： 笠井 清登 東京大学大学院医学系研究科精神医学
村井 俊哉 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学）

S53-1 医師養成プロセスの概観と精神医学へのニーズの考察

○松坂 雄亮^{1,2,3}
¹ 長崎県精神医療センター、² 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経科学、
³ 岐阜大学大学院医学系研究科医療者教育学修士課程



S53-2 医学教育カリキュラムにおけるダイバーシティとインクルージョン教育の導入

○里村 嘉弘^{1,2}、金原 明子^{1,2}、長谷川 智恵^{1,2}、佐々木 理恵^{1,2}、高橋 優輔^{2,3}、宮本 有紀^{1,4}、
大島 紀人⁵、熊谷 晋一郎^{6,7}、宇野 晃人²、熊倉 陽介²、柳下 祥⁸、笠井 清登^{1,2}

¹ 東京大学大学院医学系研究科・医学のダイバーシティ教育研究センター、
² 東京大学医学部附属病院精神神経科、³ 精神医学研究所附属東京武蔵野病院診療部、
⁴ 東京大学大学院医学系研究科・精神看護学分野、⁵ 東京大学相談支援研究開発センター、
⁶ 東京大学先端科学技術研究センター、⁷ 東京大学バリアフリー支援室、
⁸ 東京大学大学院医学系研究科・構造生理学部門

S53-3 ジェネラリスト育成のための精神医学教育
—スティグマに対するセルフモニタリング—

○須田 史朗
自治医科大学精神医学講座

S53-4 アウトカム基盤型教育による精神医学教育

○藤田 博一
高知大学医学部附属医学教育創造センター

S53-5 初期臨床研修における精神科研修の意義～アンケートから見えること～

○内野 俊郎^{1,2}、千葉 比呂美²、小曾根 基裕²
¹ 久留米大学病院臨床研修センター、² 久留米大学医学部神経精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 笠井 清登 東京大学大学院医学系研究科精神医学
〈サブコーディネーター〉 村井 俊哉 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座
(精神医学)

13:25-15:25 委員会企画シンポジウム 16 (アンチスティグマ委員会)
研究のコ・プロダクションを通じた学会の組織変革

司会： 笠井 清登 東京大学大学院医学系研究科精神医学
藤井 千代 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

CS16-1 日本精神神経学会パラダイムシフト調査班の目指したこと

○神庭 重信^{1,2}
¹ 社会医療法人栗山会飯田病院精神科、² 日本うつ病センター

CS16-2 研究の共同創造を通じた学会の組織変革
—日本統合失調症学会が取り組む社会実験

○福田 正人¹、山口 創生²、笠井 清登³、村井 俊哉⁴
¹ 群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学、
² 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部、
³ 東京大学大学院医学研究科精神医学、⁴ 京都大学大学院医学研究科精神医学

私たちの常識、医療従事者の非常識

CS16-3 ○宇田川 健
認定特定 NPO 法人地域精神保健福祉機構（コンボ）

CS16-4 ○堀合 悠一郎
特定非営利活動法人さざなみ会

CS16-5 ○平原 美栄

CS16-6 当事者主導研究の実践から考える研究における共同創造の普及のあり方

○山田 悠平¹、川口 敬之²

¹一般社団法人精神障害当事者会ポルケ

²国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部

〈メインコーディネーター〉 笠井 清登 東京大学大学院医学系研究科精神医学

〈サブコーディネーター〉 藤井 千代 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

15:40-17:40

委員会企画シンポジウム 17（精神医学研究推進委員会）

日本精神神経学会の「精神疾患の克服と障害支援にむけた研究推進の提言」がもたらしたもの

司会：尾崎 紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学
加藤 忠史 順天堂大学

CS17-1 「精神疾患の克服と障害支援にむけた研究推進の提言」とは何か？

○橋本 亮太
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

CS17-2 提言発出後の関係機関との意見交換

○尾崎 紀夫
名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学

CS17-3 心の健康に関する経済産業省の取り組み

○室 紗貴
経済産業省商務・サービスグループヘルスケア産業課

CS17-4 精神疾患領域における研究成果の社会実装と課題の克服に向けて

○中林 哲夫
独立行政法人医薬品医療機器総合機構健康被害救済部



CS17-5 産業界における精神疾患研究推進方策

○上野 太郎
サスメド株式会社

〔指定発言者〕

○松田 哲也
玉川大学

〔指定発言者〕

○神庭 重信
社会医療法人栗山会飯田病院精神科／日本うつ病センター

〈メインコーディネーター〉 尾崎 紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学
〈サブコーディネーター〉 橋本 亮太 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所精神疾患病態研究部

6月21日(金) | 会場(札幌コンベンションセンター 2F 204 会議室)

8:30-10:30 **委員会企画シンポジウム 12** (自殺予防に関する委員会)
日本における自殺の問題点

司会：張賢徳 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
太刀川弘和 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学

CS12-1 経済社会環境と日本人の自殺

○椿 広計
統計数理研究所

CS12-2 日本の宗教文化から見た自殺要因

○島 蘭 進
大正大学

CS12-3 安楽死合法化の世界的な潮流に我々はどう向き合うべきか

○戸部 有希子
新百合ヶ丘総合病院

CS12-4 屍は師なり：故人の心を知ることと赦し

○齊尾 武郎
SMBC 日興証券ウェルネス推進室

〈メインコーディネーター〉張賢徳 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
〈サブコーディネーター〉太刀川弘和 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学

10:45-12:45 **一般シンポジウム 54** がん患者自殺予防への取り組み

司会：張賢徳 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
大塚 耕太郎 岩手医科大学医学部神経精神科学講座

S54-1 自殺対策への取り組み、実際の予防と対応

○石田 真弓、大西 秀樹
埼玉医科大学国際医療センター

S54-2 がん患者に対するメンタル・ヘルス支援と自殺予防のための複合的 ケース・マネジメント介入：予備的研究

○成田 賢治¹、野呂 孝徳¹、川村 舞¹、菅原 夏海¹、昌川 安希子¹、石田 真弓²、
大西 秀樹²、河西 千秋¹

¹札幌医科大学医学部神経精神医学講座、²埼玉医科大学国際医療センター



S54-3 **がん患者の自殺 - その特徴について -**

○大西 秀樹、石田 真弓
埼玉医科大学国際医療センター

〔指定発言者〕

○張 賢徳
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

〈メインコーディネーター〉 大西 秀樹 埼玉医科大学国際医療センター

13:25-15:25 **一般シンポジウム 62**

新たな精神科作業療法の方法論：作業療法の意義と価値を再考する

司会：渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室
杉山 暢宏 信州大学医学部保健学科

S62-1 **チーム医療の中での作業療法士の視点や機能－強迫症の治療支援や精神科リエゾンチームでの経験から－**

○岸 雪枝¹、松永 寿人²
¹兵庫医科大学病院、²兵庫医科大学

S62-2 **当院精神科における急性期の作業療法**

○田中 佐千恵¹、公家 龍之介²、中野 未来²、杉山 暢宏³、小林 正義¹、鷲塚 伸介⁴
¹信州大学医学部保健学科基礎作業療法学、²信州大学医学部附属病院リハビリテーション部、
³信州大学医学部保健学科実践作業療法学、⁴信州大学医学部精神医学教室

S62-3 **自殺未遂患者に対する作業療法**

○阿部 雅、柏木 智則、島田 清貴、石橋 竜太郎、河西 千秋
札幌医科大学医学部神経精神医学講座

S62-4

精神科治療における作業療法評価の有用性 - 作業遂行特徴から生きづらさを紐解く○早坂 友成^{1,2,3}、長島 泉^{1,2,3}、星野 未来³、栗原 真理子^{2,3}、大江 悠樹^{2,3}、青鹿 由紀³、櫻井 準^{2,3}、坪井 貴嗣^{2,3}、渡邊 衡一郎^{2,3}¹ 杏林大学保健学部リハビリテーション学科作業療法学専攻、² 杏林大学医学部精神神経科学教室、³ 杏林大学医学部付属病院精神神経科**〔指定発言者〕**

○松永 寿人

兵庫医科大学医学部精神科神経科学講座

〔指定発言者〕

○杉山 暢宏

信州大学医学部保健学科

〔指定発言者〕

○柏木 智則

札幌医科大学医学部神経精神医学講座

〔指定発言者〕

○渡邊 衡一郎

杏林大学医学部精神神経科学教室

〈メインコーディネーター〉 渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室

15:40-17:40 一般シンポジウム 72

認知機能障害の評価・介入研究の最前線：患者のリハビリを実現する多様なアプローチ

司会： 中込 和幸 国立精神・神経医療研究センター
兼田 康宏 岩城クリニック

S72-1

認知機能障害の評価とその課題について

○兼田 康宏

岩城クリニック

S72-2

統合失調症の認知機能障害を改善する薬物療法の開発動向○住吉 太幹^{1,2}¹ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部、² 国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部

S72-3

社会認知機能に対するリハビリテーション

○芳賀 大輔

ワンモア豊中 / 千里中央



S72-4 認知リハビリテーションと薬物療法の併用による認知機能増強

○久保田 涼太郎

国立精神神経医療研究センター病院司法精神診療部

S72-5 経頭蓋直流刺激 (tDCS) を用いた認知機能増強療法開発の試み

○山田 悠至¹、住吉 太幹²

¹ 国立精神・神経医療研究センター病院司法精神診療部、

² 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部

〔指定発言者〕

○中込 和幸

国立精神・神経医療研究センター

〈メインコーディネーター〉 住吉 太幹

国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所児童・予防精神医学研究部／

国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部

〈サブコーディネーター〉 中込 和幸

国立精神・神経医療研究センター

6月21日(金) J会場(札幌コンベンションセンター 2F 201+202 会議室)

8:30-10:30 **委員会企画シンポジウム 13** (司法精神医学研修委員会)

精神鑑定を学ぶ:精神障害の犯行への影響のしかた(機序)をどのように説明するか?

司会: 太田 順一郎 岡山市こころの健康センター
澤田 健 高知医療センター

CS13-1 機序の説明とは本質の説明である

○村松 太郎
慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

**CS13-2 「機序」の説明は必須のものか
—犯行前後に緊張病症状のみられた統合失調症の鑑定事例をめぐって—**

○五十嵐 禎人
千葉大学社会精神保健教育研究センター法システム研究部門

CS13-3 慢性期統合失調症における非精神病症状に由来する暴力行為発生の機序

○高信 径介
北海道大学病院附属司法精神医療センター

**CS13-4 パーソナリティ障害で「機序」を説明することは可能か
—境界性パーソナリティ障害者の放火事例を通して—**

○永田 貴子
肥前精神医療センター

〈メインコーディネーター〉 村松 太郎 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室
〈サブコーディネーター〉 高信 径介 北海道大学病院附属司法精神医療センター

10:45-12:45 **一般シンポジウム 55**
患者満足度の高い精神科診療とは?

司会: 渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室
古郡 規雄 獨協医科大学精神神経医学講座

S55-1 当事者の治療満足度について、これまでの報告と今後の課題

○菅原 典夫
獨協医科大学精神神経医学講座

**S55-2 共同意思決定 (Shared Decision Making : SDM) によって当事者が満足する
精神科診療につなげる**

○渡邊 衡一郎
杏林大学医学部精神神経科学教室



S55-3 当事者・家族から見た「精神科医の診察態度」
～ 6000人のアンケート調査の結果から

○夏苺 郁子
やきつべの径診療所

S55-4 患者として満足するとは？

○相良 真央^{1,2}
¹一般社団法人精神障害当事者会ポルケ、²特定非営利活動法人凸凹ライフデザイン

〔指定発言者〕

○宮岡 等
北里大学／医薬品医療機器総合機構

〈メインコーディネーター〉 古郡 規雄 獨協医科大学精神神経医学講座

13:25-15:25 一般シンポジウム 63

精神科医にとっての「医療リワーク」

司会：五十嵐 良雄 一般社団法人日本うつ病リワーク協会／メディカルケア虎ノ門／大手町
佐々木 一 一般社団法人日本うつ病リワーク協会／あしたの風クリニック

S63-1 医療リワークの効果 —最近の文献レビューから—

○鷺塚 伸介
信州大学医学部精神医学教室

S63-2 医療リワークの質の担保

○有馬 秀晃^{1,2}
¹品川駅前メンタルクリニック、²東京大学

S63-3 医療リワーク～精神科産業医としての立場から

○黒木 宣夫
医療法人社団宣而会勝田台メディカルクリニック

S63-4 リワークのバリエーションが増える今、医療リワークの意義を再考する。

○佐々木 一
心の風クリニック（医療法人社団爽風会）

〈メインコーディネーター〉 五十嵐 良雄 一般社団法人日本うつ病リワーク協会／
メディカルケア虎ノ門／大手町

〈サブコーディネーター〉 佐々木 一 一般社団法人日本うつ病リワーク協会／
あしたの風クリニック

中島 公博 一般社団法人日本うつ病リワーク協会／
五稜会病院

15:40-17:40 一般シンポジウム 73

現代の音楽は神経発達症児・者の臨床に何をもたらすのか？

司会：今村 明 長崎大学生命医科学域保健学系作業療法学分野／長崎大学子どもの心の医療・教育センター
辻井 農亜 富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座

S73-1 神経発達症者への心理社会的治療と音楽とのかかわり

○原田 剛志
パークサイドこころの発達クリニック

S73-2 神経発達症の人たちのメンタルヘルスに音楽が及ぼす心理的影響
ーアーティストにとって、リスナーにとってー

○本田 秀夫^{1,2,3}
¹ 信州大学医学部子どものこころの発達医学教室、² 信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部、
³ 長野県発達障がい情報・支援センター

S73-3 自閉スペクトラム症者の prosody に着目する理由

○熊崎 博一
長崎大学医学部精神神経科学教室

S73-4 場面緘黙児に対するオンライン音楽療法の開発

○井上 雅彦、茶原 雅史
鳥取大学医学系研究科

S73-5 神経発達症児の音楽認知能力の評価と臨床への応用

○猿渡 京^{1,2}、今村 明¹、岩永 竜一郎¹
¹ 長崎大学生命医科学域保健学系作業療法学分野、² 長崎県立虹の原特別支援学校

〔指定発言者〕

○近藤 達郎
みさかえの園総合発達医療福祉センターむつみの家

〔指定発言者〕

○辻井 農亜
富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座

〈メインコーディネーター〉 今村 明 長崎大学生命医科学域保健学系作業療法学分野／
長崎大学子どもの心の医療・教育センター

〈サブコーディネーター〉 本田 秀夫 信州大学医学部子どものこころの発達医学教室／
信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部／
長野県発達障がい情報・支援センター

辻井 農亜 富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座

岩永 竜一郎 長崎大学生命医科学域保健学系作業療法学分野



6月21日(金) K会場(札幌コンベンションセンター 2F 206 会議室)

8:30-10:30 一般シンポジウム 44

日常の精神科診療の中で家族療法の考え方をどう活用するか：摂食障害・ADHD/ASD・うつ病・認知症編

司会：布施 泰子 茨城大学保健管理センター
森野 百合子 成増厚生病院／なります子どものこころケアセンター

S44-1 児童・思春期精神科の日常診療で家族療法をどう活用するか：
注意欠如多動性障害や自閉スペクトラム症の治療

○森野 百合子
成増厚生病院なります子どものこころケアセンター

S44-2 摂食障害と家族

○大森 美湖
東京学芸大学保健管理センター

S44-3 うつ病と家族

○中村 伸一
中村心理療法研究室

S44-4 認知症家族への理解と支援

○渡辺 俊之
渡辺医院 / 高崎西口精神療法研修室

〔指定発言者〕

○布施 泰子
茨城大学保健管理センター

〈メインコーディネーター〉 布施 泰子 茨城大学保健管理センター

〈サブコーディネーター〉 渡辺 俊之 渡辺医院 / 高崎西口精神療法研修室

10:45-12:45 一般シンポジウム 56

嗜癖行動に真に役立つ条件反射制御法とその理論

司会：長谷川 直実 医療法人社団ほっとステーション大通公園メンタルクリニック

S56-1 二足での行動による反射の結合が成立させた意識及び思考と行動への表出

○平井 慎二
独立行政法人国立病院機構下総精神医療センター

S56-2 コメディカルスタッフによる性的問題行動への取り組み

○山本 泰雄¹、長谷川 直実¹、佐々木 渉¹、花田 大地¹、堀田 茂¹、松野 翔平¹、
野村 英樹²、飛田 恭子³、平井 慎二³

¹ 医療法人社団ほっとステーション大通公園メンタルクリニック、² 金沢大学附属病院総合診療部、
³ 下総精神医療センター

S56-3 ギャンブル障害における条件反射制御技術（CRCT）。

○朴 相運
大同病院

S56-4 一司法実務家から見た刑事司法、再犯防止と条件反射制御法

○岡田 卓司
山口県弁護士会（岡田法律事務所）

〈メインコーディネーター〉 長谷川 直実 医療法人社団ほっとステーション
大通公園メンタルクリニック

13:25-15:25 一般シンポジウム 64

デモラリゼーションの精神病理と臨床

司会： 古茶 大樹 聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

S64-1 デモラリゼーション概念の成り立ちと臨床的意義

○大前 晋
国家公務員共済組合連合会虎の門病院精神科

S64-2 デモラリゼーション研究の現在地：DSM-5-TR と ICD-11 における位置づけ

○玉田 有
東京医科大学八王子医療センターメンタルヘルス科

S64-3 緩和ケア医療におけるデモラリゼーションとアンヘドニア

○中川 東夫
恵寿総合病院

S64-4 造血幹細胞移植後に生じたデモラリゼーション (demoralization)

○安井 玲子
虎の門病院精神科

S64-5 公立学校教員にみられるデモラリゼーション

○秋久 長夫
公立学校共済組合関東中央病院メンタルヘルスセンター

〈メインコーディネーター〉 井上 猛 東京医科大学精神医学分野



15:40-17:40 **委員会企画シンポジウム 18** (精神保健福祉法委員会)
「医療保護入院」について

司会： 田口 寿子 神奈川県立精神医療センター
太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

CS18-1 **なぜ医療保護入院は廃止されなければならないか**

○中島 直^{1,2}

¹ 医療法人社団新新会多摩あおば病院、² 日本精神神経学会精神保健福祉法委員会

CS18-2 **行動制限を伴う長期入院を削減するためには医療保護入院廃止にとどまることはできない**

○吉岡 隆一

京都府立洛南病院

CS18-3 **障害者の権利に関する条約（CRPD）からみた非自発的入院**

○森川 将行^{1,2}

¹ 三重県立こころの医療センター、² 奈良県立医科大学精神医学講座

CS18-4 **当事者が受けたい精神科医療とはそもそも何か。**

○山田 悠平

一般社団法人精神障害当事者会ポルケ

〈メインコーディネーター〉 太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

〈サブコーディネーター〉 田口 寿子 神奈川県立精神医療センター

6月21日(金) L会場(札幌コンベンションセンター 2F 207 会議室)

8:30-10:10 ワークショップ4

うつ病を有する女性患者の妊娠・出産にどう対応するか? ~模擬症例を通して考える~

司会: 山田 恒 兵庫医科大学精神科神経科学講座
福本 健太郎 岩手医科大学精神科神経科学講座

WS4 <講演者> 高江洲 義和 琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座
飯田 仁志 福岡大学医学部精神医学教室
菊地 紗耶 東北大学病院精神科
宮崎 弘美 ママブルーネットワーク
<メインコーディネーター> 渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室

10:45-12:25 ワークショップ5 (児童精神科医療研修委員会)

児童精神医学の作法と学び方-新たに児童精神医学を志す人のために-

司会: 岡田 俊 奈良県立医科大学精神医学講座
小野 和哉 聖マリアンナ医科大学神経精神医学教室

WS5 <講演者> 小野 和哉 聖マリアンナ医科大学神経精神医学教室
船渡川 智之 東邦大学医学部精神神経医学講座
斉藤 まなぶ 弘前大学大学院保健学研究科
総合リハビリテーション科学領域
大重 耕三 岡山県精神科医療センター
<メインコーディネーター> 岡田 俊 奈良県立医科大学精神医学講座
<サブコーディネーター> 小野 和哉 聖マリアンナ医科大学神経精神医学教室



13:25-15:05 **ワークショップ6**

リエゾン精神科医が直面する臨床倫理的課題—周産期メンタルヘルスの現場から—【事前申込制】

司会： **根本 康**
竹内 崇

さいたま市立病院精神科
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医学分野
リエゾン精神医学・精神腫瘍学担当

WS6

〈講演者〉

清野 仁美 兵庫医科大学精神科神経科学講座
瀧本 禎之 東京大学医学部附属病院心療内科／
患者相談・臨床倫理センター
池原 毅和 東京アドヴォカシー法律事務所
西村 勝治 東京女子医科大学医学部精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 根本 康

さいたま市立病院精神科

〈サブコーディネーター〉 竹内 崇

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
精神行動医学分野リエゾン精神医学・
精神腫瘍学担当

15:40-17:20 **ワークショップ7**

統合失調症心理教育ワークショップ～上手な診察の受け方のコツ（うけコツ）～

司会： **橋本 直樹**
市橋 香代

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室
東京大学医学部附属病院精神神経科

WS7

〈講演者〉

飯田 仁志 福岡大学医学部精神医学教室
柏木 宏子 国立研究開発法人国立精神・
神経医療研究センター病院
堀之内 徹 北海道大学病院精神科神経科／
YES-Japan（Young Epilepsy Section:
日本若手てんかん従事者部門）／
JYPO（Japan Young Psychiatrists Organization:
認定 NPO 日本若手精神科医の会）
安田 由華 医療法人フォスター生きる育む輝く
メンタルクリニック Neo 梅田茶屋町／
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所精神疾患病態研究部／
大阪精神科診療所協会
大井 一高 岐阜大学大学院医学系研究科精神医学分野

〈メインコーディネーター〉 橋本 直樹

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野
精神医学教室

〈サブコーディネーター〉 市橋 香代

東京大学医学部附属病院精神神経科

6月21日(金) M会場(札幌市産業振興センター 産業振興棟 2F セミナールーム A)

8:30-10:30 一般シンポジウム 45
精神科へき地医療克服のための処方箋

司会：熊崎 博一 長崎大学医学部精神神経科学教室
中村 雅之 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野

S45-1 山陰のへき地医療処方箋

○岩田 正明
鳥取大学医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野

S45-2 東京都のへき地医療処方箋

○大澤 達哉
東京都立松沢病院

S45-3 長崎県での遠隔操作ロボットを用いた精神科患者支援

○熊崎 博一
長崎大学医学部精神神経科学教室

S45-4 愛媛県愛南町の実践より

○長野 敏宏
公益財団法人正光会御荘診療所

S45-5 鹿児島県のへき地医療処方箋

○中村 雅之¹、徳永 枝里²、山畑 良蔵²
¹鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野、²鹿児島県立始良病院

〔指定発言者〕

○藤井 千代
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

〔指定発言者〕

○岸本 泰士郎
慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座

〈メインコーディネーター〉 熊崎 博一 長崎大学医学部精神神経科学教室
〈サブコーディネーター〉 中村 雅之 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
精神機能病学分野
岩田 正明 鳥取大学医学部精神行動医学分野



10:45-12:45 **一般シンポジウム 57**

認知行動療法の臨床現場への普及における課題とさらなる発展を目指して

司会：菊地 俊暁 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室
藤澤 大介 慶應義塾大学医学部医療安全管理部／精神神経科／国立がん研究センター

S57-1 **認知行動療法の現状における課題と対策**

○菊地 俊暁
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

S57-2 **わが国における認知行動療法専門医の教育と研修**

○久我 弘典
国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター

S57-3 **個人・集団認知行動療法の均てん化に向けた実態調査・基盤マニュアル・研修体制の整備**

○藤澤 大介^{1,2,3}
¹慶應義塾大学医学部医療安全管理部、²慶應義塾大学医学部精神神経科、³国立がん研究センター

S57-4 **認知行動療法のリカバリーを目指した発展がどう適用可能性を広げるか**

○耕野 敏樹^{1,2}、佐藤 康治郎²、宋 龍平²、藤原 雅樹²
¹岡山大学学術研究院社会文化科学学域、²岡山県精神科医療センター

S57-5 **わが国でのうつ病認知行動療法の臨床実装を進める：INITIATE study**

○中川 敦夫
聖マリアンナ医科大学神経精神科学

〔指定発言者〕

○煙山 剛史
桜ヶ丘記念病院

〔指定発言者〕

○大野 裕
一般社団法人認知行動療法研修開発センター

〈メインコーディネーター〉 菊地 俊暁 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室
〈サブコーディネーター〉 藤澤 大介 慶應義塾大学医学部医療安全管理部／精神神経科／国立がん研究センター

13:25-15:25 **一般シンポジウム 65**
日本における精神療法：受容と展開

司会：北西 憲二 森田療法研究所、北西クリニック
新村 秀人 大正大学臨床心理学部

S65-1 **精神療法大国・日本への道を阻む 2 つの障壁**

○田所 重紀
札幌医科大学医学部神経精神医学講座

S65-2 **日本の精神分析の未来—エディプス神話からエヴィデンス神話を読み解く**

○加藤 隆弘
九州大学大学院医学研究院精神病態医学

S65-3 **辺縁に生きる分析心理学**

○林 公輔
学習院大学文学部心理学科

S65-4 **海外における森田療法の受容と展開**

○新村 秀人
大正大学臨床心理学部

〔指定発言者〕

○北西 憲二
森田療法研究所、北西クリニック

〈メインコーディネーター〉 新村 秀人 大正大学臨床心理学部
〈サブコーディネーター〉 北西 憲二 森田療法研究所、北西クリニック

15:40-17:40 **一般シンポジウム 74**
精神・神経臨床における脳核医学画像：臨床の基本から最新の進歩まで

司会：曾根 大地 東京慈恵会医科大学精神医学講座
品川 俊一郎 東京慈恵会医科大学精神医学講座

S74-1 **認知症疾患における脳核医学画像**

○松田 博史
福島県立医科大学学生体機能イメージング講座

S74-2 **Movement disorders の診断における症候、MRI、核医学画像検査**

○杉山 淳比古
千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学



S74-3

てんかんにおける脳核医学画像の臨床的役割と進歩

○曾根 大地

東京慈恵会医科大学精神医学講座

S74-4

精神神経疾患における PET を用いた病態可視化技術の開発と展望

○高畑 圭輔^{1,2}、森口 翔^{1,2}、黒瀬 心^{1,2}、市橋 雅典¹、鈴木 寿臣^{1,3}、互 健二¹、
遠藤 浩信¹、久保田 学^{1,4}、山本 保天^{1,2}、三村 将²、徳田 隆彦¹、内田 裕之²、
樋口 真人¹

¹ 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構、² 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室、

³ 下総精神医療センター、⁴ 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座、

〈メインコーディネーター〉 曾根 大地 東京慈恵会医科大学精神医学講座

〈サブコーディネーター〉 松田 博史 福島県立医科大学生体機能イメージング講座

6月21日(金) N会場(札幌市産業振興センター 産業振興棟 2F セミナールーム B)

8:30-10:30 一般シンポジウム 46
臓器移植と緩和ケアのリエゾン精神医学

司会：木村 宏之 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野
川崎 弘詔 福岡大学医学部精神医学教室

S46-1 臓器不全・移植患者の緩和ケアとリエゾン精神医学

○西村 勝治
東京女子医科大学医学部精神医学講座

S46-2 重症心不全における心移植と緩和ケア

○成田 尚
北海道大学病院精神科神経科

S46-3 サイコネフロロジーに関する最近の話題と臨床研究の推進

○大橋 綾子¹、中尾 智博²
¹九州大学病院精神科神経科、²九州大学大学院医学研究院精神病態医学

S46-4 臓器移植の倫理とエンドオブライフ

○杉田 尚子
国立病院機構京都医療センター精神科

〔指定発言者〕

○竹内 崇
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学分野リエゾン精神医学・精神腫瘍学担当

〈メインコーディネーター〉 木村 宏之 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野
〈サブコーディネーター〉 成田 尚 北海道大学病院精神科神経科

10:45-12:45 一般シンポジウム 58
周産期メンタルヘルス領域における治療困難事例に対する新たな治療実践

司会：竹内 崇 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学分野リエゾン精神医学・精神腫瘍学担当
渡邊 博幸 学術会木村病院／千葉大学社会精神保健教育研究センター

S58-1 産後うつ病の薬物療法再考

○鈴木 利人
順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院

S58-2 周産期のグリーフケア ～対人関係療法の視点から～

○利重 裕子
名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学



ASD 女性の妊娠・出産に関わる課題と支援

S58-3 ○内山 登紀夫

福島学院大学

S58-4 ○伊瀬 陽子

福島県発達障がい者支援センター

S58-5 のぞえの丘病院で行う母子同室入院の試み

○堀川 直希

のぞえの丘病院

〈メインコーディネーター〉 竹内 崇

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
精神行動医科学分野リエゾン精神医学・
精神腫瘍学担当

〈サブコーディネーター〉 鈴木 利人

順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院

13:25-15:25 一般シンポジウム 66

オキシトシンの向精神作用と精神疾患治療応用への展望

司会： 溝口 義人
門司 晃

佐賀大学医学部精神医学講座
医療法人慈光会若久病院

S66-1 オキシトシンの神経機能解剖学と新たな生理機能

○上田 陽一^{1,2}

¹産業医科大学学長研究室、²産業医科大学医学部第1生理学

S66-2 心と肥満とオキシトシン ～心身一如～

○前島 裕子、下村 健寿

福島県立医科大学

S66-3 行動障害を伴う知的・発達障害児（者）とオキシトシンによる治療可能性

○會田 千重

国立病院機構肥前精神医療センター

S66-4 高齢者の精神的健康を維持するためにーオキシトシンに着目してー

○溝口 義人

佐賀大学医学部精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 溝口 義人

佐賀大学医学部精神医学講座

〈サブコーディネーター〉 門司 晃

医療法人慈光会若久病院

15:40-17:40 **委員会企画シンポジウム 19** (精神医療・福祉のあり方に関する常任委員会)
日本の精神科医療・保健福祉の未来を考える 2024

司会：佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル
相澤 明憲 特定医療法人弓削病院

CS19-1 **精神医療・福祉のあり方に関する委員会における議論をつうじて**

○水野 雅文
東京都立松沢病院

CS19-2 **地域のメンタルヘルスにおける課題解決にむけた精神科急性期医療**

○来住 由樹
地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

CS19-3 **慢性療養者の医療・支援のあり方検討委員会からの提言**

○針間 博彦
東京都立松沢病院

CS19-4 **日本の地域ケアにおける自立支援の現状・課題・方向性**

○林 輝男
社会医療法人清和会西川病院

〈メインコーディネーター〉 水野 雅文 東京都立松沢病院
〈サブコーディネーター〉 佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル



6月21日(金) 0会場(札幌市産業振興センター 産業振興棟 2F セミナールームC)

8:30-10:30 一般シンポジウム 47
嗜癖性障害への内観療法

司会：高木 学 岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学
堀井 茂男 慈圭病院

S47-1 ギャンブル障害に対する内観療法

○塚崎 稔
三和中央病院

S47-2 暴力依存、性依存、病的窃盗、買物依存、ゲーム障害に対する内観療法

○竹元 隆洋
指宿竹元病院

S47-3 アルコール依存症への内観療法～再発を繰り返す症例から～

○堀井 茂男、浅田 貴大、藤沢 卓弘
慈圭病院

S47-4 摂食障害への内観療法

○河合 啓介
国立国際医療研究センター国府台病院心療内科

〈メインコーディネーター〉 小澤 寛樹 長崎大学国際・地域精神保健科学分野
〈サブコーディネーター〉 塚崎 稔 三和中央病院

10:45-12:45 一般シンポジウム 59
精神科と脳神経内科の壁について考える

司会：山田 了士 岡山県精神医療センター
柏原 健一 岡山神経内科クリニック

S59-1 運動疾患における精神症状と精神疾患における運動症状

○西尾 慶之
大阪大学行動神経学・神経精神医学寄付講座

S59-2 認知症診療における精神科と脳神経内科の接点

○大町 佳永、稲川 拓磨、雑賀 玲子、野崎 和美、横井 優磨、高野 晴成、塚本 忠
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

S59-3 精神症状を呈する神経疾患を通して精神科と脳神経内科の壁を考える

○岩田 邦幸^{1,2}、宮嶋 真理²、藤城 弘樹¹
¹名古屋大学精神科、²医療法人交正会精治療病院

S59-4 PNES（心因性非てんかん発作）診療における精神科と脳神経内科の壁：
no man's land から our land へ

○谷口 豪、中田 千尋、加藤 英生、大竹 眞央、藤 雄一朗
国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部

〔指定発言者〕

○村田 佳子
埼玉医科大学神経精神科

〈メインコーディネーター〉 谷口 豪 国立精神・神経医療研究センター病院
てんかん診療部

〈サブコーディネーター〉 西尾 慶之 大阪大学行動神経学・神経精神医学寄付講座

13:25-15:25 一般シンポジウム 67
日本の精神科領域における公衆衛生の新たな取り組み

司会： 谷口 研一朗 さが恵比須メンタルくりにつく
藤井 和世 おでかけクリニック／合同会社ももこころ／
任意団体いちかわみんなのほけんしつ／こころとからだ・光の花クリニック

S67-1 若者に向けた早期相談・支援窓口の実践を通じた地域における
メンタルヘルスリテラシーの向上

○内野 敬
東邦大学医学部社会実装精神医学講座

S67-2 「いちかわみんなのほけんしつ」活動報告と今後の展望

○浦林 翼^{1,2,3,4}、藤井 和世^{1,2,3}、伊藤 順一郎⁵
¹おでかけクリニック、²任意団体いちかわみんなのほけんしつ、³合同会社ももこころ、
⁴一般社団法人コミュニティメンタルヘルスアウトリーチ協会、
⁵メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ

S67-3 当院の訪問診療における対話実践と地域社会での取り組みについて

○松岡 邦彦
茶屋町在宅診療所

S67-4 開かれた対話（オープンダイアログ）の3つの軸はまちを創っていく

○森川 すいめい
医療法人社団ゆうりん会ゆうりんクリニック



S67-5

当事者、専門職のコ・プロダクションでソーシャル・アクションを。
TOMY'S ACTION CLUB の取り組み

○谷口 研一朗^{1,2}、小沼 聖治^{2,3}、坂本 将吏^{2,4}、矢部 滋也^{2,5}、白澤 珠理^{2,6}

¹さが恵比須メンタルくりにつく、²TOMY'S ACTION CLUB、³聖学院大学心理福祉学部心理福祉学科、

⁴認定 NPO 法人侍学園スクオーラ・今人沖縄校、⁵一般社団法人北海道ピアサポート協会、

⁶医療法人常清会相談支援事業所ドライブ

〈メインコーディネーター〉 藤井 和世 おでかけクリニック／合同会社ももこころ／
任意団体いちかわみんなのほけんしつ／
こころとからだ・光の花クリニック

〈サブコーディネーター〉 谷口 研一朗 さが恵比須メンタルくりにつく

15:40-17:40

一般シンポジウム 75

リカバリーを目指す認知療法 (recovery-oriented cognitive therapy: CT-R) の本邦への適用

司会： 久我 弘典
松本 和紀

国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター
こころのクリニック O A S I S

S75-1

リカバリーを目指す認知療法の概要とそのエビデンスについて

○久我 弘典

国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター

S75-2

精神科病院における CT-R の活用と今後の可能性

○徳山 明広

一般財団法人信貴山病院ハートランドしぎさん

S75-3

精神科外来でのリカバリーを目指す認知療法 (CT-R) の適用

○松本 和紀

こころのクリニック O A S I S

S75-4

リハビリをを目指す認知療法によるリハビリ志向の精神科治療

○耕野 敏樹^{1,2}、佐藤 康治郎²

¹ 岡山大学学術研究院社会文化科学学域、² 岡山県精神科医療センター

〔指定発言者〕

○大野 裕

一般社団法人認知行動療法研修開発センター

〔指定発言者〕

○牧野 みゆき

厚生労働省社会・援護局障害福祉部精神障害保健課

〈メインコーディネーター〉 松本 和紀

こころのクリニックO A S I S

〈サブコーディネーター〉 久我 弘典

国立精神・神経医療研究センター
認知行動療法センター

耕野 敏樹

岡山大学学術研究院社会文化科学学域/
岡山県精神科医療センター



6月21日(金) P会場(札幌市産業振興センター 技能訓練棟 3F セミナールーム1)

8:30-10:30 一般シンポジウム 48

児童臨床における短い診察時間の中でのアセスメントの工夫—知識を実臨床に適正化し、最大の効果を目指す—

司会： 稲垣 貴彦 医療法人明和会琵琶湖病院／滋賀医科大学精神医学講座

S48-1 不登校を主訴とする子どもの初診アプローチ：効率的診療と共感的診療の融合

○藤田 純一

横浜市立大学附属病院児童精神科

S48-2 限られた時間の中で自傷を行う患者を評価する

○稲垣 貴彦^{1,2}

¹ 医療法人明和会琵琶湖病院、² 滋賀医科大学精神医学講座

S48-3 限られた時間での易怒性の評価

○辻井 農亜

富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座

S48-4 摂食の問題、低栄養、低体重を伴う青年の初回面接

○鈴木 太

上林記念病院こども発達センターあおむし

〔指定発言者〕

○大野 裕

一般社団法人認知行動療法研修開発センター

〈メインコーディネーター〉 稲垣 貴彦 医療法人明和会琵琶湖病院／
滋賀医科大学精神医学講座

10:45-12:45 一般シンポジウム 60

精神科治療の引き出しが増やせる基本的な漢方処方～漢方専門医が考える精神科一般臨床で重宝する漢方薬～

司会： 神庭 重信 社会医療法人栗山会飯田病院精神科／日本うつ病センター
堀口 淳 島根大学

S60-1 精神科領域における香蘇散の効用を考える

○坪井 貴嗣^{1,2}

¹ 杏林大学医学部精神神経科学教室、² 慶應義塾大学医学部漢方医学センター

S60-2 六味丸と精神科臨床

○徳田 裕志

高田馬場診療所

S60-3 精神科の日常臨床で呉茱萸湯を用いる際の考え方

○鎌田 晃寿
医療法人芙蓉会芙蓉会病院

S60-4 素直な怒り（憤怒）を冷ます黄連解毒湯

○川口 哲
島原こころのクリニック

S60-5 不眠に、黄連湯の試み

○杵渕 彰
青山杵渕クリニック

〔指定発言者〕

○山田 和男
東北医科薬科大学

〔指定発言者〕

○久永 明人
ホスピタル板東

〈メインコーディネーター〉 山田 和男 東北医科薬科大学

〈サブコーディネーター〉 久永 明人 ホスピタル板東

13:25-15:25 一般シンポジウム 68

今後の精神科臨床における音楽療法の有用性 ー音楽療法の強みとそれを生かすための方略ー

司会： 山下 晃弘 佐藤病院
中島 振一郎 慶応義塾大学医学部精神・神経科学教室

S68-1 リハビリテーションにおける音楽療法実践の紹介

○那須 貴之^{1,2}
¹医療法人篤友会坂本病院、²同志社女子大学

S68-2 精神科臨床における音楽療法の強み～音楽療法士の立場から

○木下 容子
東邦音楽大学

S68-3 精神科臨床において音楽療法の強みを生かすチーム協働を実現するための看護

○中島 淑恵
東京慈恵会医科大学医学部看護学科

S68-4 精神科臨床における音楽療法の強み～精神科医の立場から

○馬場 存^{1,2}
¹駿河台大学、²東邦音楽大学



S68-5 精神科領域で音楽療法の強みを生かす方略について
～国家資格をめぐる議論から～

○二俣 泉
昭和音楽大学

〔指定発言者〕

○村林 信行
医療法人社団信俊会心療内科アツクリニッック大崎

〈メインコーディネーター〉 山本 賢司 東海大学医学部総合診療学系精神科学

15:40-17:40 一般シンポジウム 76
精神科早期介入の社会実装に向けた産学官連携の可能性

司会： 藤井 千代 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
根本 隆洋 東邦大学医学部精神神経医学講座／東邦大学医学部社会実装精神医学講座

S76-1 精神科早期介入の社会実装に向けた行政との関わり

○根本 隆洋^{1,2}
¹ 東邦大学医学部精神神経医学講座、² 東邦大学医学部社会実装精神医学講座

S76-2 精神科訪問看護ステーション CISE の早期介入への取り組み

○伊東 新太郎、不京 誠
訪問看護ステーション CISE

S76-3 産学連携を通じたメンタルヘルス早期相談・支援の取り組み

○磯野 浩嗣
日本生命保険相互会社

S76-4 実装戦略としての産官学連携による精神科早期介入

○今村 晴彦^{1,2}
¹ 長野県立大学大学院健康栄養科学研究科、² 東邦大学医学部社会実装精神医学講座

〔指定発言者〕

○藤井 千代
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

〈メインコーディネーター〉 根本 隆洋 東邦大学医学部精神神経医学講座／
東邦大学医学部社会実装精神医学講座

〈サブコーディネーター〉 福井 英理子 正永会港北病院

6月21日(金) Q会場(札幌市産業振興センター 技能訓練棟 3F セミナールーム 2)

8:30-9:30 一般演題(口演) 13
社会精神医学(1)

司会: 中山 秀紀 北仁会旭山病院

2-013-1 インターネット嗜癖・ゲーム行動症の知的機能の特徴
～WAIS-IIIおよびWISC-IVの下位スケール結果から～

○三原 聡子、大井 円香、石渡 春花、北湯口 孝、西村 光太郎、松崎 尊信、松下 幸生、樋口 進

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

2-013-2 ゲーム行動症の精神科合併症

○樋口 進、三原 聡子、大井 円香、西村 光太郎、松崎 尊信、松下 幸生

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

2-013-3 若年のゲーム行動症患者の増加と治療上の課題

○樋口 進、松崎 尊信、西村 光太郎、三原 聡子、北湯口 孝、松下 幸生

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

2-013-4 男性被害者における親密なパートナーからの暴力
(Intimate Partner Violence: IPV) を報告する際の障壁

○森下 順子¹、安田 学^{1,2}、稲川 優多¹、須田 史朗¹

¹自治医科大学精神医学講座、²栃木県立岡本台病院

2-013-5 小児期虐待が成人期不安症状に与える影響を抑うつの反芻、
睡眠の問題が媒介する

○田村 健人、榎屋 二郎、井上 猛

東京医科大学精神医学分野

9:30-10:30 一般演題(口演) 14
社会精神医学(2)

司会: 二宮 貴至 浜松市精神保健福祉センター

2-014-1 総合病院に勤務する医療従事者へのメンタルヘルス支援ニーズと
ポストベンションに関するアンケート調査

○糸山 恵未¹、新津 富央^{2,3}、荒井 美音里³、林 陸³、田邊 恭子³、橘 真澄⁴、今枝 太郎⁵、
中田 孝明⁵、伊豫 雅臣^{1,2,3}

¹千葉大学医学部附属病院こどものこころ診療部、²千葉大学大学院医学研究院精神医学、

³千葉大学医学部附属病院精神神経科、⁴千葉大学総合安全衛生機構、

⁵千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学



2-014-2 客観的孤立・主観的孤立・孤独と抑うつに関連—社会的孤立・孤独に関するオンラインアンケート調査結果より

○翠川 晴彦¹、相羽 美幸²、古村 健太郎³、櫛引 夏歩⁴、菅原 大地⁵、川上 直秋⁵、白鳥 裕貴⁶、太刀川 弘和⁷

¹筑波大学附属病院精神神経科、²東洋学園大学人間科学部、³弘前大学人文社会科学部、

⁴弘前大学大学院保健学研究科、⁵筑波大学人間系心理学域、

⁶筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学、⁷筑波大学医学医療系臨床医学域災害・地域精神医学

2-014-3 精神科救急システムで当院に入院した外国人患者の実態調査

○吉田 浩司、森脇 久視、福井 英里、中田 雅子、関 奈緒子、平野 祥子
神奈川県立精神医療センター

2-014-4 社会的ひきこもりの支援者スキル評価のためのチェックリスト開発

○久保 浩明¹、直野 慶子^{1,2,3}、境 泉洋⁴、船橋 英樹¹、平野 羊嗣¹、石田 康¹

¹宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野、²宮崎県精神保健福祉センター、

³宮崎県ひきこもり地域支援センター、⁴宮崎大学教育学部

10:45-11:45 一般演題 (口演) 15
神経症 (1)

司会：朝倉 聡 北海道大学保健センター

2-015-1 パニック症に対する認知行動療法の治療効果予測モデル：機械学習アプローチによる決定係数の改善

○小川 成
名古屋市立大学大学院人間文化研究科

2-015-2 ADHD は慢性疼痛に対して因果的影響を有する—インターネット調査—

○笠原 諭^{1,2}、吉本 隆彦³、岡 敬之⁴、森田 泰斗¹、佐藤 直子⁵、丹羽 真一⁶、内田 寛治¹、松平 浩²

¹東京大学医学部附属病院麻酔科・痛みセンター、²福島県立医科大学疼痛医学講座、

³昭和大学医学部衛生学公衆衛生学講座、⁴東京大学医学部運動器 AI システム開発学講座、

⁵東京大学医学部附属病院看護部、⁶福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座

2-015-3 強迫症患者に対する薬物療法と認知行動療法の標準的併用療法による3年後の完全寛解予測因子の検討

○向井 馨一郎、細井 幸彦、荻野 俊、林田 和久、松永 寿人
兵庫医科大学精神科神経科学講座

2-015-4 Dynamic Time Warping を用いた PTSD 症状の経時的変化に関する解析

○齊藤 拓、北野 誠人、脇 文子、長峯 正典
防衛医科大学校防衛医学研究センター行動科学研究部門

2-015-5 神経発達症併存の有無による強迫症患者の遺伝子を含む免疫学的機序に関する比較検討

○櫻井 正彦、山西 恭輔、細井 幸彦、荻野 俊、向井 馨一郎
兵庫医科大学

11:45-12:45 一般演題（口演）16
神経症（2）

司会：館野 歩 東京慈恵会医科大学精神医学講座

2-016-1 身体症状症における「症状そのもの」と「症状に対する姿勢」へのアプローチの効果的な両立に関する検討

○眞島 裕樹¹、新村 秀人^{1,2}
¹慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、²大正大学臨床心理学部

2-016-2 身体リハビリテーションが効果を示し、訪問看護導入により退院後もリハビリ継続可能となった失立失歩の一例

○山内 彩希帆¹、稲川 優多¹、牡鹿 実²、寺門 大輔²、須田 史朗¹
¹自治医科大学精神医学講座、²自治医科大学附属病院リハビリテーションセンター

2-016-3 慢性痛におけるオキシトシンと心理社会的要因との関連に関する前向き観察研究

○松島 淳¹、宮脇 八千代¹、國武 浩子¹、今村 義臣¹、國武 裕¹、門司 晃²、
溝口 義人¹
¹佐賀大学医学部附属病院精神神経科、²医療法人慈光会若久病院

2-016-4 成人強迫症患者における認知特性の Wechsler Adult Intelligent Scale III による検討

○細井 幸彦、向井 馨一郎、櫻井 正彦、前林 憲誠、林田 和久、荻野 俊、松永 寿人
兵庫医科大学

2-016-5 向精神薬を中止できた難治性の転換性障害の一例

○森田 耕吉、森田 啓史、津田 敦、赤松 正規、數井 裕光
高知大学医学部神経精神科学講座

13:25-14:25 一般演題（口演）17
神経生理・画像

司会：浅見 剛 横浜市立大学医学部精神医学

2-017-1 L-DOPA 受容体 GPR143 は新たな抗精神病薬の標的となりうるか？

○五嶋 良郎^{1,2}、増川 太輝¹
¹横浜市立大学、²横浜薬科大学



2-017-2 デフォルトモード・ネットワーク関連領域の
ドパミントランスポーター分布密度と脳賦活の機能的関連

○肥田 道彦¹、小澤 頌²、守屋 洋紀³、坂寄 健⁴、大久保 善朗⁵、館野 周⁴

¹ 日本医科大学多摩永山病院精神神経科、² 日本医科大学千葉北総病院、³ 恩田第2病院、
⁴ 日本医科大学付属病院精神神経科、⁵ 多摩中央病院

2-017-3 有機リン化合物による中毒性パーキンソン症候群の
ドパミントランスポーターシンチグラフィ所見

○中尾 周平、古郷 央一郎、船橋 英樹、平野 羊嗣、石田 康

宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野

2-017-4 成人自閉スペクトラム症者における幼少期逆境体験と白質微細構造変化の
関連性について

○南 昭宏、松岡 究、北村 聡一郎、吉川 裕晶、上田 和也、大西 弘樹、藤本 侑花、
高橋 誠人、石田 理緒、山内 崇平、牧之段 学、岡田 俊

奈良県立医科大学精神医学講座

2-017-5 ラウドネス依存性聴覚誘発電位と心理指標との関連性

○藤田 貢平¹、竹内 伸行²、藤田 雄輝³、神谷 妙子³、西原 真理⁴

¹ 愛知医科大学病院精神科学講座、² 岡崎市民病院精神科、³ 愛知医科大学病院臨床検査部、
⁴ 愛知医科大学病院痛みセンター

14:25-15:25 一般演題 (口演) 18
睡眠障害

司会：金子 宜之 日本大学医学部精神医学系精神医学分野

2-018-1 せん妄チェックリストの点数から見た、せん妄と死亡転帰との関係：
単施設後ろ向きコホート研究

○山田 浩貴¹、中村 敏範¹、鈴木 一浩^{1,2}、荒井 勇輔¹、倉石 雄太¹、寺澤 美穂³、
篠山 大明^{1,4}、鷲塚 伸介¹

¹ 信州大学医学部精神医学教室、² 信州大学医学部地域精神医療学講座、
³ 信州大学医学部附属病院薬剤部、⁴ 信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部

2-018-2 ガイドラインで推奨された睡眠薬における治療の失敗と長期処方リスクの比較

○竹島 正浩、吉沢 和久、小笠原 正弥、三島 和夫

秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座

2-018-3 Comorbid insomnia and sleep apnea (COMISA) の病態と白質変性との関連

○内海 智博¹、吉池 卓也¹、松井 健太郎¹、河村 葵¹、長尾 賢太郎¹、都留 あゆみ¹、
木附 隼¹、羽澄 恵¹、佐藤 典子²、栗山 健一¹

¹ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部、
² 国立精神・神経医療研究センター病院放射線診療部

2-018-4 起立性調節障害として紹介され、睡眠相後退症候群として加療したところ、朝の起床困難が改善した症例経験

○千葉 滋^{1,2,3}、紺野 雄大¹、根本 剛^{1,4}、井上 舜太³、岩渕 恵美^{2,5}、白井 謙太郎^{2,6}、神林 崇^{1,2}

¹筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構、²茨城県立こころの医療センター睡眠・覚醒障害外来、

³南埼玉病院精神神経科、⁴千葉大学附属病院、⁵茨城県立こども病院小児精神神経発達科、

⁶土浦協同病院小児科

2-018-5 不眠を契機に精神病症状を繰り返したナルコレプシーの一例

○若山 裕梨、橋本 和子

社会医療法人芳和会菊陽病院

15:40-17:40 一般シンポジウム 77

発達障害の課題を持つ医学生、研修医の支援と課題

司会：内野 俊郎 久留米大学病院臨床研修センター／久留米大学医学部神経精神医学講座

S77-1 発達障害の課題を持つ医学生の支援

○藤田 博一

高知大学医学部附属医学教育創造センター

S77-2 医学生と研修医の不適合の実情と課題

○市来 真彦^{1,2}

¹東京医科大学学生・職員健康サポートセンター、²東京医科大学精神医学分野

S77-3 初期臨床研修における精神科研修の意義～アンケートから見えること～

○内野 俊郎^{1,2}、千葉 比呂美²、小曾根 基裕²

¹久留米大学病院臨床研修センター、²久留米大学医学部神経精神医学講座

S77-4 診断閾値近傍の神経発達症を有する医学生教育・臨床研修をめぐる課題

○岡田 俊

奈良県立医科大学精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 内野 俊郎

久留米大学病院臨床研修センター／

久留米大学医学部神経精神医学講座

〈サブコーディネーター〉 市来 真彦

東京医科大学学生・職員健康サポートセンター／

東京医科大学精神医学分野



6月21日(金) ポスター会場(札幌市産業振興センター 技能訓練棟 2F 体育実習室)

8:30-9:30 一般演題(ポスター) 13
気分障害(1)

司会: 橋本 恵理 札幌医科大学医学部神経精神医学講座

2-P13-1 難治性精神疾患の脳病態と新規治療法の探索: 薬物と幹細胞による社会性/共感性の行動・脳神経回路変動解析

○ 鶴飼 渉¹、出利葉 健太^{1,2}、西村 恵美¹、橋本 恵理¹、廣瀬 奨真^{1,2}、橋口 華子¹、望月 真里菜^{1,3}、古瀬 研吾^{1,3}、石井 貴男^{1,4}、柏木 智則¹、館農 勝^{1,5}、リーバ マルコ⁶、河西 千秋¹

¹ 札幌医科大学医学部神経精神医学講座、² 砂川市立病院精神科、

³ JA北海道厚生連帯広厚生病院精神科、⁴ 札幌医科大学保健医療学部作業療法学科、

⁵ さっぽろ悠心の郷ときわ病院こども発達センター、⁶ ミラノ大学薬理生物分子科学講座

2-P13-2 月経前症候群・月経前不快気分障害の診断・治療の現状と問題点～日本精神神経科診療所協会会員を対象としたアンケート結果～

○ 吉見 佳奈^{1,2}、井上 史¹、尾臺 珠美³、白土 なほ子⁴、渡邊 善⁵、大坪 天平⁶、寺内 公一³、武田 卓¹

¹ 近畿大学東洋医学研究所女性医学部門、² 杏和会阪南病院精神科、

³ 東京医科歯科大学茨城県地域産科婦人科学講座、⁴ 昭和大学産婦人科、⁵ 東北大学産婦人科、

⁶ 東京女子医科大学附属足立医療センター心療・精神科

2-P13-3 リカバリープログラム通所者におけるコンパッションの効果: 臨床的・パーソナルリカバリープロセスへの影響

○ 澤井 大和¹、榊原 英輔¹、五十嵐 愛¹、白井 美智子¹、南 倫¹、熊谷 友梨香¹、朝重 菜々美¹、庄司 瑛武¹、矢野 健一²、金原 明子¹、近藤 伸介¹、笠井 清登¹

¹ 東京大学医学部附属病院精神神経科、² 東京大学医学部附属病院リハビリテーション部

2-P13-4 先行するうつ病の診断が双極症の転帰に及ぼす影響: レセプトデータを用いたレトロスペクティブコホート研究

○ 櫻井 準¹、中畠 雅之²、坪井 貴嗣¹、野坂 忠史³、馬場 健次³、渡邊 衡一郎¹、川上 浩司³

¹ 杏林大学医学部精神神経科学教室、

² 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康解析学講座薬剤疫学分野、

³ 住友ファーマ株式会社メディカルサイエンス部

2-P13-5 外傷性くも膜下出血を最近発症した妄想性うつ病患者に対し ECT が可能であった一例

○ 大嶋 悠太¹、都 剛太郎¹、宮川 雄介¹、今井 智之¹、朴 秀賢¹、平田 直之²、竹林 実¹

¹ 熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座、² 熊本大学大学院生命科学研究部麻酔科学講座

2-P13-6 ボルチオキセチン投与時の消化器系用薬・睡眠薬の併用実態 実臨床観察研究を用いた post hoc 調査

○ 守口 善也、畑川 郁江

ルンドベック・ジャパン株式会社開発本部メディカルアフェアーズ部

8:30-9:30 一般演題（ポスター）14
自殺対策

司会：衛藤 暢明 福岡大学医学部精神医学教室

2-P14-1 2022年自殺集計方法変更による疫学研究へのインパクト

○原田 奈穂子^{1,2}、野村 周平^{3,4}、香田 将英⁵

¹岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科、

²岡山大学医学部保健学科看護学専攻基礎看護学領域、

³慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室、⁴東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学教室、

⁵岡山大学大学院医歯薬学研究科地域医療共育推進オフィス

2-P14-2 自殺企図患者の治療継続性に精神科入院が与えた影響について

○一條 拓海^{1,4}、野口 信彦¹、田村 元¹、服部 早紀¹、渡邊 香織³、藤田 英美²、
宮内 雅利¹、野本 宗孝¹、浅見 剛¹

¹横浜市立大学医学部精神医学教室、²横浜市立大学附属病院精神科、

³横浜市立大学附属病院看護部、⁴医療法人正永会港北病院

2-P14-3 メンタルヘルススクリーニングは大学卒業を予測するか

○白鳥 裕貴^{1,2}、袖山 紀子^{1,2}、太田 深秀^{1,2}、新井 哲明²、太刀川 弘和³

¹筑波大学保健管理センター、²筑波大学医学医療系臨床医学系精神医学、

³筑波大学医学医療系災害・地域精神医学

2-P14-4 市町村が実施するゲートキーパー研修～この10年間を振り返って～

○原田 豊

鳥取県立精神保健福祉センター

2-P14-5 自殺企図と精神疾患および中間的表現型との遺伝的相関

○藤兼 大輔、大井 一高、蔵満 彩結実、高井 健太郎、武藤 恭昌、杉山 俊介、
塩入 俊樹

岐阜大学大学院医学系研究科精神医学分野

2-P14-6 鳥取県におけるCOVID-19感染流行前後の自殺関連行動の傾向と特徴：
後方視的研究

○林 皓章、岩田 正明

鳥取大学医学部附属病院精神科

8:30-9:30 一般演題（ポスター）15
統合失調症（1）

司会：塩飽 裕紀 東京医科歯科大学大学院精神行動医科学分野

2-P15-1 クロザピン誘発性心筋炎による投与中止後にクロザピン再投与に成功した一例

○小笹 俊哉¹、和田 憲嗣^{1,2}、小深田 博紀¹、土井 拓¹、横田 伸吾¹、黒田 健治¹

¹医療法人杏和会阪南病院精神科、²医療法人杏和会阪南病院内科



2-P15-2 橋本脳症との鑑別を要した急性一過性精神病性障害の一例

○神谷 拓実¹、石田 琢人²、稲熊 徳也¹、大澤 達哉¹、針間 博彦¹、水野 雅文¹

¹ 東京都立松沢病院精神科、² 東京都立松沢病院内科

2-P15-3 アリピプラゾール持続性注射製剤による皮膚症状が疑われた統合失調症の一例

○丹野 行博¹、斉藤 善貴¹、天羽 康之²、稲田 健¹

¹ 北里大学医学部精神神経科学、² 北里大学皮膚科学

2-P15-4 統合失調症の治療中断から訪問診療が介入し、デイケア利用につながった 20 代男性の一例

○岡田 大輔、中山 由美子、高野 浩美、村岡 由季子

南阿佐ヶ谷こもれびメンタルクリニック

2-P15-5 統合失調症患者における薬物治療ガイドライン一致率 (IFS) と労働時間の関係

○伊藤 颯姫¹、大井 一高²、安田 由華^{1,3}、藤本 美智子^{1,4}、山森 英長^{1,4,5}、松本 純弥¹、
福本 健太郎⁶、小高 文聰^{1,7}、長谷川 尚美¹、石丸 徑一郎⁸、三浦 健一郎¹、古郡 規雄⁹、
橋本 亮太¹

¹ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、

² 岐阜大学大学院医学系研究科精神医学分野、

³ 医療法人フォスター生きる育む輝くメンタルクリニック、

⁴ 大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学講座精神医学教室、

⁵ 独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院神経精神科、

⁶ 岩手医科大学医学部神経精神科学講座、⁷ 東京慈恵会医科大学精神医学講座、

⁸ お茶の水女子大学基幹研究院、⁹ 獨協医科大学精神神経医学講座

2-P15-6 VICTORY-S 研究の概要：

統合失調症患者の認知機能に対するルラシドンと NEAR 併用効果の検討

○久保田 涼太郎¹、池澤 聡^{2,3}、小居 秀紀⁴、大庭 真梨⁴、和泉 翔喜⁴、安達 伶音奈²、
三輪 真子²、津野 良子⁴、遠矢 俊司⁵、西里 洋平⁵、芳賀 大輔⁶、岩根 達郎⁷、
中込 和幸⁸

¹ 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院司法精神診療部、

² 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部、

³ 国際医療福祉大学三田病院精神科、

⁴ 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究・教育研修部門情報管理・解析部、

⁵ 住友ファーマ株式会社メディカルサイエンス部、⁶ ワンモア豊中、⁷ 京都府立洛南病院、

⁸ 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

9:30-10:30 **一般演題（ポスター） 16**
気分障害（2）

司会：加藤 正樹 関西医科大学医学部精神神経科学講座

2-P16-1 **双極性障害に対する薬物治療の変遷：レセプトデータを用いた記述疫学研究**

○坪井 貴嗣¹、中畠 雅之²、櫻井 準¹、野坂 忠史³、馬場 健次³、渡邊 衡一郎¹、川上 浩司²

¹ 杏林大学医学部精神神経科学教室、

² 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康解析学講座薬剤疫学分野、

³ 住友ファーマ株式会社メディカルサイエンス部

2-P16-2 **うつ病に対する反復経頭蓋磁気刺激（rTMS）療法による主観的評価と客観的評価の検討：前向き観察研究**

○五十嵐 俊^{1,2}、林 大祐¹、山崎 龍一³、松田 勇紀^{1,3,4}、垂石 七星³、森 啓輔³、小高 文聰³、沖田 恭治³、野田 隆政¹、鬼頭 伸輔^{1,3}

¹ 国立精神・神経医療研究センター病院、² 杏林大学医学部精神神経科学教室、

³ 東京慈恵会医科大学精神医学講座、⁴ 京都大学大学院医学研究科・医学部健康増進・行動学分野

2-P16-3 **大うつ病性障害の治療における EGUIDE プログラムと重症度記載の有効性の検討**

○村岡 寛之¹、福本 健太郎²、長谷川 尚美³、古郡 規雄⁴、小高 文聰^{3,5}、大井 一高⁶、柏木 宏子^{3,7}、松本 純弥³、三浦 健一郎³、稲田 健¹、渡邊 衡一郎⁸、橋本 亮太³

¹ 北里大学医学部精神科学、² 岩手医科大学医学部神経精神科学講座、

³ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、

⁴ 獨協医科大学医学部精神神経医学講座、⁵ 東京慈恵会医科大学精神医学講座、

⁶ 岐阜大学大学院医学系研究科精神医学分野、⁷ 国立精神・神経医療研究センター病院司法精神診療部、

⁸ 杏林大学医学部精神神経科学教室

2-P16-4 **治療抵抗性うつ病患者における血漿中 REST 濃度と脳体積の関連に関する予備的研究**

○石井 洵平、小高 文聰、松澤 友斗、森 啓輔、酒井 祥行、小林 珠代、繁田 雅弘、布村 明彦

東京慈恵会医科大学精神医学講座

2-P16-5 **治療環境が精神療法の効果に与える影響に関する予備的研究：ランダム化比較試験**

○小高 文聰¹、喜田 光洋²、荻谷 健司³、佐伯 ちひろ¹、土屋 守雄³、岡田 桜綾³、根本 孝明³、繁田 雅弘¹

¹ 東京慈恵会医科大学精神医学講座、² BrainEnergy 株式会社、³ 住友林業株式会社筑波研究所

2-P16-6 **精神疾患を合併した妊産婦における抗うつ薬、抗不安・睡眠薬の非使用と重症度の関連**

○小林 珠代、小高 文聰、石井 洵平、森 啓輔、酒井 祥行、松澤 友斗、常泉 陽介、繁田 雅弘

東京慈恵会医科大学精神医学講座



9:30-10:30 **一般演題（ポスター） 17**
睡眠障害

司会：神林 崇 筑波大学睡眠研究機構・こころの医療センター

2-P17-1 **精神疾患を合併する閉塞型睡眠時無呼吸症候群患者の持続陽圧呼吸療法アドヒアランス：後方視的カルテ調査**

○渡邊 雅子^{1,2}、櫻井 準^{1,2}、神田 優太^{1,4}、坪井 貴嗣^{1,2}、中島 亨^{1,2,3}、渡邊 衡一郎^{1,2}

¹ 杏林大学医学部精神神経科学教室、² 杏林大学医学部附属病院精神神経科、

³ 杏林大学保健学部臨床心理学科、⁴ 医療法人社団樹会武蔵小金井南口心療クリニック

2-P17-2 **出産前日のレンボレキサント服用による新生児への影響 -3 症例からの考察 -**

○望月 真里菜¹、佐野 智章¹、佐藤 謙太郎¹、飯沼 洋一郎²、古瀬 研吾¹

¹ JA 北海道厚生連帯広厚生病院精神科、² JA 北海道厚生連帯広厚生病院産婦人科

2-P17-3 **オレキシン受容体拮抗薬がベンゾジアゼピン受容体作動薬の減薬に寄与する可能性についての検討**

○広田 進

広田クリニック

2-P17-4 **オレキシン受容体拮抗薬導入による睡眠剤処方の時系列変化と背景**

○庄野 昌博、鍋島 賢大、後藤 純一

特定医療法人佐藤会弓削病院

2-P17-5 **新型コロナウイルス感染症罹患後に長時間睡眠を呈した若年患者 4 例**

○大久保 達明¹、白井 謙太郎^{1,3}、千葉 滋^{1,2,6}、岩渕 恵美^{1,4}、紺野 雄大²、補永 恭穂²、根本 剛^{2,7}、高橋 晶^{1,5}、立川 弘和^{1,5}、神林 崇^{1,2}

¹ 茨城県立こころの医療センター精神科、² 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構（WPI-IIIIS）、

³ 土浦協同病院小児科、⁴ 茨城県立こども病院小児神経精神発達科、⁵ 筑波大学災害・地域精神医学、

⁶ 南埼玉病院、⁷ 千葉大学附属病院

2-P17-6 **歴史的人物に対する「不眠症」「治療」の有効性**

○山田 博規

西八王子病院

9:30-10:30 **一般演題（ポスター） 18**
統合失調症（2）

司会：木村 大 学会会木村病院

2-P18-1 **統合失調症の不安症状に対するルラシドンの効果：不安重症度別解析**

○根本 隆洋¹、奥村 みゆき²、佐野 文哉²、丸山 秀徳²

¹ 東邦大学医学部精神神経医学講座、² 住友ファーマ株式会社

2-P18-2 本邦の統合失調症患者における社会適応状況及び抗精神病薬使用の変化に関する10年間の追跡研究

○森 湧平¹、宍戸 理沙¹、日野 瑞城²、佐藤 亜希子¹、長岡 敦子³、旗野 将貴¹、
細貝 優人¹、三浦 至¹、國井 泰人^{2,3}

¹ 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座、² 東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野、

³ 東北大学病院精神科

**2-P18-3 オンライン中央評価値と施設対面評価値の関連の探索的検討：
統合失調症患者対象の2本の国際共同第II相試験**

○本多 志帆¹、尾崎 凌斗¹、勝俣 京子¹、北川 達也¹、Kerchner Geoff²、
Gerlach Irene²、巽 和永³、中村 香苗¹

¹ 中外製薬株式会社、² F. Hoffmann-La Roche Ltd.、³ WCG Clinical Endpoint Solutions

**2-P18-4 Aripiprazole One Monthly 使用中の統合失調症患者に対する
brexpiprazole 追加投与が認知機能に与える影響**

○越川 陽介¹、高野 謹嗣^{1,2}、加藤 正樹¹、船橋 紀也¹、村瀬 雄士¹、板東 宏樹³、
内藤 みなみ¹、緒方 治彦¹、島本 優太郎^{1,4}、山本 敦子¹、高野 翔子¹、木下 利彦¹、
嶽北 佳輝¹

¹ 関西医科大学医学部精神神経科学講座、² 敬性会神戸白鷺病院、³ 青祥会セフィロト病院、

⁴ 医療法人社団瀬田川病院

**2-P18-5 LAI・アセナピンの併用により良好な経過が得られた治療抵抗性統合失調症の
1例**

○石井 宏明^{1,2}、山田 浩樹^{1,2}、笠井 隆央^{1,2}、熊崎 栞^{1,2}、葛井 真守^{1,2}、平田 貴之^{1,2}、
笹森 大貴^{1,2}、富岡 大^{1,2}、稲本 淳子^{1,2}

¹ 昭和大学横浜市北部病院、² 昭和大学医学部精神医学講座

2-P18-6 統合失調症併存の強迫症に対し、電気けいれん療法が著効した一例

○札幌 智博、水本 智大、野田 稔子、原田 健一郎、松原 敏郎、中川 伸
山口大学医学部附属病院

10:45-11:45 一般演題（ポスター）19**気分障害（3）**

司会：櫻井 準 杏林大学医学部精神神経科学教室

**2-P19-1 難治性うつ病の治療最適化を目指して：
うつ multimodal アプローチ・プログラムの実践報告 - TMS 編**

○伏屋 研二、樋口 遼太郎、笠貫 浩史、中川 敦夫、古茶 大樹

聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

**2-P19-2 QT 延長症候群に対する植込み型除細動器導入後のうつ病にボルチオキセチンが
奏功した一例**

○山内 真喜夫、大舘 孝治、飯島 慶郎、槻宅 雅史、林 真一郎、正岡 浩浩、伊藤 司、
佐藤 皓平、錦織 光、山下 智子、長濱 道治、稲垣 正俊

島根大学医学部精神医学講座



2-P19-3 認知機能の悪化なく3年以上維持電気けいれん療法を継続可能であった軽度認知障害を合併したうつ病の一例

○佐藤 皓平、大舘 孝治、林 茉衣、飯島 慶郎、山内 真喜夫、槻宅 雅史、林 真一郎、正岡 浩、伊藤 司、錦織 光、山下 智子、長濱 道治、稲垣 正俊

島根大学医学部精神医学講座

2-P19-4 双極症患者における認知機能と労働生産性に関する観察研究：ベースライン時点の横断分析

○高江洲 義和¹、城間 綾乃¹、野坂 忠史²、丸山 秀徳²

¹琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座、²住友ファーマ株式会社メディカルサイエンス部

2-P19-5 賦活症候群・離脱症候群を呈しパーソナリティ症と診断されていた一例

○具 雄書、瀧口 一夫、熊代 新、増井 寛治、金森 良

公益財団法人金森和心会針生ヶ丘病院

2-P19-6 心臓血管手術後で、リチウム中毒を繰り返した老年期の双極症の一例

○松尾 倫子¹、河野 次郎¹、藤丸 誠司²、井形 淳平¹、小金丸 剛¹、直野 久雄¹、並木 薫¹、古郷 央一郎³、船橋 英樹³、平野 羊嗣³、石田 康³

¹宮崎県立宮崎病院精神医療センター、²宮崎県立宮崎病院看護部、

³宮崎大学医学部附属病院精神科

10:45-11:45 一般演題（ポスター）20
摂食障害

司会：三井 信幸 北海道大学大学院医学院健康管理医学教室

2-P20-1 Anorexia nervosa の発症年齢と自己貪食による肝障害の関係

○河合 恵太^{1,2,3}、山田 浩樹^{1,2}、富岡 大^{1,2}、岩波 明²、稲本 淳子^{1,2}

¹昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター、²昭和大学医学部精神医学講座、

³医療法人緑光会東松山病院

2-P20-2 神経性やせ症を発症した若年男性例における発症過程の検討

○楯林 義直¹、三井 信幸²、豊島 邦義²、久住 一郎²、水野 雅文¹

¹東京都立松沢病院、²北海道大学病院精神科神経科

2-P20-3 重症遷延性摂食障害の臨床的特徴：北海道大学病院における後方視的研究

○宮崎 将也、三井 信幸、豊島 邦義、久住 一郎

北海道大学病院精神科神経科

2-P20-4 重症遷延性神経性やせ症で治療に難渋した2症例

○大橋 愛子、田山 達之、熊崎 博一

長崎大学病院精神科神経科

2-P20-5 神経性やせ症に転換症を併存した症例に家族をベースとする治療が有用であった1例

○萩倉 美奈子¹、鈴木 太^{3,4}、稲田 俊也²、鈴木 幸恵¹、嶋 宏昭¹、西垣 誠¹、園田 学¹、新藤 琢生¹、坪井 重博¹

¹ 豊田西病院、² 名古屋大学大学院医学系研究科精神医療学寄附講座、

³ 上林記念病院こども発達センターあおむし、⁴ 福井大学子どものこころの発達研究センター

2-P20-6 自閉スペクトラム症の特性を持つ摂食障害女性との「トリセツ」作り

○大須賀 英理、井上 恵理子、須田 真史、福田 正人

群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学分野

10:45-11:45 一般演題（ポスター） 21
統合失調症（3）

司会：新津 富央 千葉大学大学院医学研究院精神医学

2-P21-1 治療抵抗性統合失調症患者における終末期医療の報告

○牧山 龍和、加藤 伸忠、芦田 湧基、朱宮 功大、金井 重儀、伊藤 寿彦、佐竹 直子
国立研究開発法人国立国際医療研究センター国府台病院

2-P21-2 修正型電気けいれん療法が奏功した緊張病・悪性症候群の2例

○金丸 杏奈、清水 里沙、藤元 貴子、船橋 英樹、平野 羊嗣、石田 康
宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野

2-P21-3 クロザピン長期投与患者の転帰について

○橋本 和子

社会医療法人芳和会菊陽病院

2-P21-4 およそ35年にわたりほぼ無治療だった統合失調症の1例

○大村 圭、小林 聡幸、須田 史朗、佐藤 謙伍、福田 周一、津田 眞珠子、石塚 晶啓
自治医科大学精神医学講座

2-P21-5 急性間質性肺炎のため、クロザピン（CLZ）治療を中止したが、5か月後にCLZを再導入した統合失調症の一例

○木田 直也¹、岡 桜子¹、下門 裕弥¹、村上 優²

¹ 国立病院機構琉球病院、² 国立病院機構さいがた医療センター

2-P21-6 統合失調症患者における神経認知機能障害と社会認知機能障害の比較

○橋本 直樹¹、秋山 久¹、大久保 亮²、豊巻 敦¹、野原 万梨子¹、佐々木 洋平³、久保田 涼太郎³、岡野 宏紀³、高橋 奏海³、長谷川 由美³、内野 敬⁴、和田 泉⁴、竹田 和良³、池澤 聰⁵、根本 隆洋⁴

¹ 北海道大学大学院医学研究院精神医学教室、² 国立病院機構帯広病院精神科、

³ 国立精神・神経医療研究センター、⁴ 東邦大学医学部精神神経医学講座、

⁵ 国際医療福祉大学三田病院精神科



11:45-12:45 **一般演題（ポスター） 22**
気分障害（4）

司会：小笠原 一能 名古屋大学医学部附属病院卒後臨床研修・キャリア形成支援センター

2-P22-1 **難治性うつ患者における診断と薬剤治療歴の調査**

○村尾 昌美¹、櫻井 準¹、大江 悠樹¹、栗原 真理子¹、長島 泉^{1,2}、早坂 友成^{1,2}、
青鹿 由紀³、坪井 貴嗣¹、渡邊 衡一郎¹

¹ 杏林大学医学部付属病院精神神経科学教室、

² 杏林大学保健学部リハビリテーション学科作業療法学専攻、³ 杏林大学医学部付属病院看護部

2-P22-2 **復職時に重要なレジリエンスとは何か？**

○松下 満彦^{1,2}、後藤 玲央^{1,2}、佐藤 圭¹、杉本 浩利¹、徳永 雄一郎¹、高田 和秀¹、
川崎 弘詔²

¹ 不知火病院、² 福岡大学医学部精神医学教室

2-P22-3 **うつ病性障害患者の併存不眠に対するベンゾジアゼピン系睡眠薬と
オレキシン受容体拮抗薬の処方実態**

○酒井 祥行、石井 洵平、小高 文聰、森 啓輔、小林 珠代、山寺 亘、繁田 雅弘
東京慈恵会医科大学精神医学講座

2-P22-4 **長期間かつ少量の三環系抗うつ薬服用の中断によるうつ病再発機序についての
臨床的考察**

○矢野 幹一良、成島 健二

東京都立荏原病院

2-P22-5 **精神科入院を契機として確定診断に至った Cowden 症候群の 1 例**

○太田 三恵¹、木山 典子¹、国分 一男²、岩田 正明¹

¹ 鳥取大学医学部附属病院、² 隠岐広域連合立隠岐病院

2-P22-6 **難治性うつの治療最適化を目指して：
うつ multimodal アプローチ・プログラムの実践報告 - CBT 編**

○樋口 遼太郎、伏屋 研二、笠貫 浩史、中川 敦夫、古茶 大樹

聖マリアンナ医科大学病院神経精神科

11:45-12:45 **一般演題（ポスター） 23**
精神科救急

司会：角藤 芳久 地方独立行政法人宮城県立病院機構宮城県立精神医療センター

2-P23-1 **大量服薬自殺企図患者における危険因子の関連性：アソシエーションルール分析**

○岡本 直通¹、池ノ内 篤子^{1,2}、チバータル エンヘルムン¹、渡邊 啓太³、井形 亮平¹、
関 一誠¹、吉村 玲児¹

¹ 産業医科大学神経精神科、² 産業医科大学病院認知症センター、³ 京都大学

- 2-P23-2 **Risperidone は高気温下での tramadol による高体温を抑制する**
○岡田 剛史、高野 学、塩田 勝利、須田 史朗
自治医科大学精神医学講座
- 2-P23-3 **大谷地病院における行動制限最小化への取り組みと拘束に関する後方視的研究**
○山川 諒太、清水 有子、晝間 臣治、田尾 大樹
重仁会大谷地病院
- 2-P23-4 **信頼関係を築けない精神科治療は暴力である**
○成瀬 暢也
埼玉県立精神医療センター
- 2-P23-5 **心肺停止し、蘇生後に良好な経過をたどった重症神経性やせ症の一例**
○坂田 晃浩、押淵 英弘、世継 高大、三浦 渉、田口 美月、榎本 幸輔、柴田 和郎、鈴木 龍、
白川 美千雄、高岡 洋平、西村 勝治
東京女子医科大学病院
- 2-P23-6 **当院スーパー救急病棟における統合失調症患者のリアルワールドデータからみた
入院治療の現状と課題**
○植田 真央、篠崎 将貴、増井 晃、下田 和孝
地方独立行政法人栃木県立岡本台病院

11:45-12:45 **一般演題（ポスター） 24**
統合失調症（4）

司会：多田 真理子 順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学

- 2-P24-1 **SARS-COV-2 感染による無顆粒球症後にクロザピンを再開した
治療抵抗性統合失調症の一例**
○三浦 渉¹、白川 美千雄¹、柴田 和郎¹、田口 美月¹、小林 航平^{1,2}、世継 高大¹、
押淵 英弘¹、西村 勝治¹
¹東京女子医科大学神経精神科、²久喜すずのき病院
- 2-P24-2 **統合失調症における日中の眠気の QOL への影響と関連要因の検討**
○藤井 伸邦¹、金子 宜之¹、小嶋 悠太¹、上村 宗平¹、植村 哲也¹、木附 隼¹、
中島 英^{1,2}、鈴木 貴浩¹、金森 正¹、長瀬 幸弘^{1,3}、山田 幸樹^{1,4}、内山 真^{1,5}、
鈴木 正泰¹
¹日本大学医学部精神医学系精神医学分野、²日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野、
³医療法人社団東京愛成会高月病院、⁴医療法人社団薫風会山田病院、
⁵医療法人財団厚生協会東京足立病院
- 2-P24-3 **ビペリデンの処方中止により精神症状が悪化した統合失調症の 2 例**
○清水 義雄、阿部 慶一、小林 建太郎
万成病院



2-P24-4 遺伝的な多層データに基づく統合失調症の層別化

○大井 一高^{1,2}

¹ 岐阜大学大学院医学系研究科精神医学、² 金沢医科大学総合内科

2-P24-5 急性期統合失調症に対するルラシドンの有用性についての検討

○石塚 卓也

医療法人社団碧水会長谷川病院精神科

2-P24-6 医療観察法関連医療機関におけるクロザピン使用状況および使用ニーズに関する調査

○高信 径介^{1,2}、直江 亮¹、石川 修平²、三井 信幸²、賀古 勇輝^{1,2}、橋本 直樹²、久住 一郎²

¹ 北海道大学病院附属司法精神医療センター、

² 北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

13:25-14:25 一般演題（ポスター）25
社会精神医学（1）

司会：菊地 俊暁 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

2-P25-1 精神科クリニックジェンダー外来の構造化
—公認心理師・臨床心理士の役割から—

○松岩 七虹

医療法人桐葉会きじまこころクリニック

2-P25-2 Perinatal loss（ペリネイタル・ロス）の悲嘆と回復

○西郷 佳世

竹田総合病院精神科

2-P25-3 急増する在留ネパール人労働者が直面するストレス要因と産業保健現場で知っておきたい知見

○勝田 吉彰

関西福祉大学

2-P25-4 精神科クリニックに通院する night entertainment business worker が抱える心理社会的背景

○村山 友規¹、ベネデック 安理²、佐々木 竜二²

¹ 医療法人社団圭泉会旭川圭泉会病院、² ストレスケアすすきのメンタルクリニック

2-P25-5 精神障害に関するスティグマ研究の変遷—評価尺度の比較検討—

○清水 梨々花、安藤 久美子

聖マリアンナ医科大学

13:25-14:25 **一般演題（ポスター） 26**
統合失調症（5）

司会： 廣瀬 祐紀 千葉大学医学部附属病院精神神経科

- 2-P26-1 複数回の暴力行為を呈した治療抵抗性統合失調症患者にクロザピンを導入した1例**
○篠原 陸斗、有賀 圭太、小野 鉄舟、宗岡 広弥、梅津 弘樹、三上 敦大
市立鉏路総合病院精神神経科
- 2-P26-2 オンラインゲームにより不安が軽減された統合失調症の一例**
○坂本 和貴^{1,2}、小林 良太¹、森岡 大智¹、安孫子 ちひろ³、川勝 忍²、鈴木 昭仁¹
¹山形大学医学部精神医学講座、²福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座、
³千歳篠田病院
- 2-P26-3 屋外での運動療法を通して変化のみられたクロザピン抵抗性統合失調症の一例**
○坂本 健太郎¹、洪 基朝¹、盛本 翼²、西川 章代¹、上田 裕也¹、岸本 直子³、
岸本 年史¹
¹秋津鴻池病院、²奈良県立医科大学、³大阪国際大学
- 2-P26-4 解離性同一性障害の症状を呈した統合失調症にクロザピンが効果を示した1例**
○浅田 孝一¹、井出 政行^{2,3}、高村 佳幸⁴、高橋 卓巳¹、山口 直美^{1,5}、佐藤 晋爾⁶、新
井 哲明²
¹筑波大学附属病院精神神経科、²筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学、
³茨城県立医療大学医科学センター、⁴筑波大学附属病院臨床心理部、⁵つくば木の花クリニック、
⁶茨城県立中央病院精神科
- 2-P26-5 光干渉断層計による統合失調症の網膜厚および血管密度の解析研究：潜在的バイオマーカーとしての網膜**
○小松 浩¹、小野口 豪²、矢花 武史³、佐熊 惇²、宮 武博³、中澤 徹^{3,4,5,6}、富田 博秋^{1,2}
¹東北大学病院精神科、²東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野、
³東北大学医学部眼科学教室、⁴東北大学大学院医学系研究科眼科画像情報解析学寄付講座、
⁵東北大学大学院医学系研究科網膜疾患制御学寄附講座、
⁶東北大学大学院医学系研究科視覚先端医療学寄附講座
- 2-P26-6 脳画像のデータ駆動型スクリーニングによる側脳室拡大と認知機能障害をもつ新たな診断分類の提唱**
○安田 由華¹、伊藤 颯姫¹、松本 純弥¹、岡田 直大¹、福永 雅喜¹、三浦 健一郎¹、
橋本 直樹¹、大井 一高¹、高橋 努¹、肥田 道彦²、山森 英長¹、藤本 美智子¹、
長谷川 尚美²、小池 進介³、中村 元昭¹、岡田 剛⁴、宮田 淳¹、沼田 周助¹、
鬼塚 俊明¹、吉村 玲児¹、中川 伸¹、渡邊 嘉之¹、尾崎 紀夫¹、橋本 亮太¹
¹国立精神・神経医療研究センター、²日本医科大学、³東京大学、⁴広島大学



13:25-14:25 一般演題（ポスター） 27
認知症（1）

司会：松岡 照之 独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター

2-P27-1 Community Handover Programme: An initiative for transiting care for patients living with dementia from Specialist Outpatient Clinics to the Primary Care Networks

○Alexa Lai Jiayi¹, Nastar Ashna², Kitikiti Nikki¹

¹National University Health System

²Alexandra Hospital

2-P27-2 生活習慣病を有する高齢者の認知症進展予防を目指した多因子介入ランダム化比較試験：J-MINT Prime 神奈川

○井出 恵子¹、小田原 俊成²、水嶋 春朔³、齋藤 京子⁴、鈴木 裕子⁵、櫻井 孝⁶、田栗 正隆⁷、鈴木 翔子⁸、千葉 悠平¹、阿部 紀絵¹、吉見 明香¹、菱本 明豊⁹、山中 太郎¹⁰、荒井 秀典⁶

¹横浜市立大学医学部精神医学教室、²横浜市立大学医学部保健管理センター、

³横浜市立大学医学部群医学部、⁴淑徳大学教育学部、⁵SOMPO ケア株式会社認知症プロジェクト推進部、

⁶国立長寿医療研究センター、⁷東京医科大学医学部医療データサイエンス分野、

⁸横浜市立大学大学院データサイエンス研究科、⁹神戸大学大学院医学研究科精神医学分野、

¹⁰横浜旭中央総合病院

2-P27-3 ポケット嗅覚識別テストを用いた外来高齢者の4年間の経過

○佐藤 守^{1,2}、森田 喜一郎^{2,3}、山下 裕之^{1,2}、児玉 英也^{1,2}、吉本 幸治²、小路 純央^{1,2}

¹久留米大学医学部神経精神医学講座、²久留米大学高次脳疾患研究所、³相和会中村病院

2-P27-4 軽度認知障害およびアルツハイマー型認知症の高齢者の血漿中におけるメタボローム変化（伊予市中山町調査）

○尾崎 智樹¹、吉野 祐太¹、立花 亜由美^{1,2}、清水 秀明³、森 崇明³、中山 知彦⁴、馬渡 一論⁵、沼田 周助⁴、伊賀 淳一¹、高橋 章⁵、大森 哲郎⁶、上野 修一¹

¹愛媛大学医学部附属病院精神神経科学講座、²医療法人誓生会松風病院、

³医療法人静心会平成病院、⁴徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野、

⁵徳島大学大学院医歯薬学研究部予防環境衛生学分野、

⁶社会医療法人あいざと会藍里病院あいざと精神医療研究所

2-P27-5 日本人のアルツハイマー型認知症に伴うアジテーションに対するブレクスピプラゾールの有効性、安全性の検討

○中村 祐¹、足立 淳²、廣田 直輝²、伊庭 克拓²、村井 祐之²、清水 孝一³、中井 正三³、森 直紀³

¹香川大学医学部精神神経医学講座、²大塚製薬株式会社新薬開発本部、

³大塚製薬株式会社メディカル・アフケアーズ部

2-P27-6 日本人のアルツハイマー型認知症に伴うアジテーションに対するブレクスピプラゾール継続投与の安全性の検討

○中村 祐¹、足立 淳²、廣田 直輝²、伊庭 克拓²、村井 祐之²、清水 孝一³、中井 正三³、森 直紀³

¹香川大学医学部精神神経医学講座、²大塚製薬株式会社新薬開発本部、

³大塚製薬株式会社メディカル・アフケアーズ部

13:25-14:25 **初期研修医・学部学生演題（ポスター）1**
研修医発表（1）

司会：古郡 規雄 獨協医科大学精神神経医学講座

2-KP1-1 **統合失調症患者における医療用ビニール手袋の異食に対して開腹摘出術を行った1例**

○有菌 志侑真¹、和氣 仁美²、池本 正平³、正木 秀和¹、田波 秀朗²、水野 雅文¹

¹ 東京都立松沢病院精神科、² 東京都立松沢病院外科、³ 東京都立松沢病院内科

2-KP1-2 **統合失調症の治療中に無顆粒球症を発症した一例**

○水野 雄太、小藺江 浩一

竹田総合病院

2-KP1-3 **精神科入院時におけるスクリーニング頭部CTの有用性に関する検討**

○堀 莉野、石田 琢人、水野 雅文

東京都立松沢病院

2-KP1-4 **特発性基底核石灰化症によるうつ状態に対し、早期からの介入が有用であった一例**

○岩崎 明穂¹、亀谷 仁郁^{1,2}、菊知 充^{1,2}

¹ 金沢大学附属病院神経科精神科、² 金沢大学医学系精神行動科学

2-KP1-5 **既往歴のない20代男性が吸入笑気麻酔後に緊張病状態となりビタミンB12投与によって寛解が得られた一例**

○小林 憲司¹、石田 琢人²、吉田 瑛建¹、水野 雅文¹

¹ 東京都立松沢病院精神科、² 東京都立松沢病院内科

14:25-15:25 **一般演題（ポスター）28**
社会精神医学（2）

司会：桂川 修一 東邦大学医療センター佐倉病院メンタルヘルスクリニック

2-P28-1 **「世界保健機関西太平洋地域メンタルヘルス未来指向枠組」の各国での実装に向けた我が国の取組と貢献**

○関 英一^{1,4,5}、藤井 千代¹、金 吉晴¹、馬場 俊明²、鈴木 航太³

¹ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、² 国立国際医療研究センター国際医療協力局、

³ 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課、⁴ 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、

⁵ 社会医療法人あさかホスピタル

2-P28-2 **相馬事件と精神病患者監護法**

○金川 英雄^{1,2}

¹ 国立病院機構埼玉病院、² 昭和大学精神科



2-P28-3 慢性疼痛と ADHD —ジョン・F・ケネディ (1917 - 1963) の事例—

○笠原 諭^{1,2}、松平 浩²、森田 泰斗¹、佐藤 直子³、丹羽 真一⁴

¹ 東京大学医学部附属病院麻酔科・痛みセンター、² 福島県立医科大学疼痛医学講座、
³ 東京大学医学部附属病院看護部、⁴ 福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座

2-P28-4 30年以上にわたる刑事責任能力鑑定 228 件の検討

○桂木 正一、久我 政利

桜が丘病院

14:25-15:25 一般演題 (ポスター) 29
認知症 (2)

司会：吉山 顕次 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

2-P29-1 もの忘れ予防検診における聴力検査の検討

○柳本 寛子¹、森田 喜一郎^{2,3}、児玉 英也^{1,2}、大川 順司^{1,2}、佐藤 守^{1,2}、小路 純央^{1,2}

¹ 久留米大学医学部神経精神医学講座、² 久留米大学高次脳疾患研究所、³ 医療法人相和会中村病院

2-P29-2 日本の文化及び認知症を考慮した嗅覚識別検査の妥当性の検討

○吉村 絵美^{1,2}、森田 喜一郎^{2,3}、児玉 英也^{1,2,4}、大川 順司^{1,2,5}、佐藤 守^{1,2}、柳本 寛子^{1,2}、
小路 純央^{1,2}

¹ 久留米大学医学部神経精神医学講座、² 久留米大学高次脳疾患研究所、
³ 医療法人社団相和会中村病院、⁴ 医療法人社団芳英会宮の陣病院、⁵ 医療法人社団祥和会大川病院

2-P29-3 物忘れ外来における嗅覚障害：DAT スキャンによる検討

○森田 喜一郎^{1,2}、児玉 英也^{2,3}、佐藤 守^{2,3}、山下 裕之^{2,3}、吉本 幸治^{2,3}、小路 純央^{2,3}

¹ 医療法人相和会中村病院、² 久留米大学高次脳疾患研究所、³ 久留米大学医学部精神神経科学教室

2-P29-4 意味性認知症、アルツハイマー型認知症と診断された高齢女性 2 症例に対する画像検査アプローチの考察

○石田 健祐、菅原 一晃、樋口 遼太郎、鈴木 洋平、古茶 大樹

聖マリアンナ医科大学神経精神科

2-P29-5 早期アルツハイマー病に対する全体及び日本人集団でのドナネマブの有効性と安全性：TRAILBLAZER-ALZ-2

○片桐 秀晃¹、佐藤 祥一郎¹、畠山 直久¹、藤越 慎治¹、Epelbaum Stephane²

¹ 日本イーライリリー株式会社、² Eli Lilly and Company

2-P29-6 有田市立病院の受診患者における軽度認知障害におけるメタボ・痩せと認知機能の関連

○平田 真之将¹、田畑 倫代²、山田 信一¹、紀本 創兵¹

¹ 和歌山県立医科大学医学部神経精神医学講座、² 国保野上厚生総合病院

14:25-15:25 **初期研修医・学部学生演題（ポスター）2**
研修医発表（2）

司会：須田 史朗 自治医科大学精神医学講座

2-KP2-1 “便秘がひどい”という訴えに対し下剤処方を継続した結果、
代謝性アシドーシスを来した神経性やせ症の一例

○三輪 達志、石田 琢人、水野 雅文、島田 恵
東京都立松沢病院

2-KP2-2 摂食障害入院加療後のヘモグロビン濃度低下に関するリスク因子の検討

○谷茶 みづき¹、石田 琢人²、鈴木 一恵²、水野 雅文¹
¹東京都立松沢病院精神科、²東京都立松沢病院内科

2-KP2-3 当院の精神科リエゾン診療における抗精神病薬の使用状況

○川口 雄也、粥川 朋哉
大阪市立総合医療センター

2-KP2-4 大腸癌手術後のせん妄

○金好 智子、奥村 正紀
東京都立豊島病院

2-KP2-5 長期入院中の重症自閉症スペクトラム症患者の直腸脱に腹腔鏡下直腸固定術を
施行した1例

○樋口 雄二郎¹、和氣 仁美²、村端 祐樹¹、石橋 浩弥¹、小池 治³、山崎 菜央³、
三島 優花³、木内 博愛³、金子 睦美³、田波 秀朗²、水野 雅文¹
¹東京都立松沢病院精神科、²東京都立松沢病院外科、³東京都立松沢病院看護部

15:40-16:40 **一般演題（ポスター）30**
依存症（1）

司会：白坂 知彦 手稲溪仁会病院精神保健科

2-P30-1 アルコール依存症患者の外来受診を継続させる要因について

○田尻 智哉、市川 貴一、織田 裕美子、伊集院 将、天野 託、増井 晃、下田 和孝
栃木県立岡本台病院

2-P30-2 物忘れ外来における窃盗症

○小田 陽彦
兵庫県立ひょうごこころの医療センター



2-P30-3 高リスク、あるいは低リスクのギャンブル行動についての示唆的考察
(長崎県の令和2年度調査を踏まえて)

○山本直毅¹、森本芳郎⁴、今村明³、熊崎博一²

¹長崎大学地域連携児童思春期精神医学診療部、

²長崎大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経学分野、

³長崎大学生命医科学域保健学系作業療法学分野、

⁴長崎大学原爆後障害医療研究所人類遺伝学研究分野

2-P30-4 飲酒量低減薬の使いどころを探る
～当院におけるナルメフェンの処方実績と有用性の検討～

○下原悠一、入来晃久、松田太郎

大阪精神医療センター

2-P30-5 オピオイド鎮痛薬の不適切使用患者への治療介入～自験例からの考察～

○成瀬暢也

埼玉県立精神医療センター

15:40-16:40 一般演題(ポスター) 31

地域精神科医療(1)

司会：兼行浩史 山口県立こころの医療センター

2-P31-1 北里大学病院における精神科訪問診療の実態調査

○鈴木龍太郎^{1,2}、星野俊弥^{1,2}、大石智²、斉藤善貴²、村岡寛之²、稲田健^{1,2}

¹北里大学医学部地域児童精神科医療学、²北里大学医学部精神科学

2-P31-2 総合病院精神科病棟を維持していくため考える事

○長谷川雄介

富山市立富山市民病院

2-P31-3 子どものメンタルヘルス医療の担い手は誰か
～滋賀子どもの心の診療ネットワークの構築と活動を通して～

○稲垣貴彦^{1,2}、柏崎元皓³、和田志乃⁴、石川依子⁵、安岡公美子⁶、宇野正章⁴

¹医療法人明和会琵琶湖病院、²滋賀医科大学精神医学講座、³北海道家庭医療学センター浅井診療所、

⁴パームこどもクリニック、⁵東近江市立能登川病院小児科、⁶日野記念病院耳鼻咽喉科

2-P31-4 医療過疎地域のプライマリ・ケアにおける精神医療の実態に関する調査

○福田周一¹、小谷和彦²、小林聡幸¹、須田史朗¹

¹自治医科大学精神医学講座、²自治医科大学地域医療学センター地域医療学部門

2-P31-5 県養成医としての離島・僻地での精神科新専門医プログラムの現状と今後

○佐野寛哉、松坂雄亮、壹岐聡一郎、松瀬慶和、野口学、安藤幸宏、山本智一、大塚俊弘

長崎県精神医療センター

2-P31-6 地域のひきこもり者に対するアウトリーチ支援の有用性の検討

○小川 貴史¹、白鳥 裕貴^{2,3}、中村 哲也¹、和智 萌¹、東理 美沙¹、矢口 知絵¹、齋藤 環⁵、堀 孝文¹、太刀川 弘和^{1,4}

¹茨城県立こころの医療センター、²筑波大学医学医療系精神医学、

³筑波大学保健管理センター精神科、⁴筑波大学災害・地域精神医学、

⁵筑波大学医学医療系社会精神保健学

15:40-16:40 **一般演題（ポスター） 32**
認知症（3）

司会：伊賀 淳一 愛媛大学大学院精神神経科学講座

2-P32-1 認知症の告知の希望に関連する要因についての調査

○中山 千加良¹、松岡 照之^{1,2}、今井 鮎¹、成本 迅¹

¹京都府立医科大学大学院精神機能病態学、²独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター精神科

2-P32-2 当初精神疾患と考えられたが、最終的に進行性非流暢性失語と診断した1例

○持田 拓昌¹、松本 泰幸¹、小谷 万葉¹、山下 太誠^{1,3}、中江 佳一郎¹、橋本 亮幸¹、青鹿 由紀²、櫻井 準¹、坪井 貴嗣¹、渡邊 衡一郎¹

¹杏林大学医学部精神神経科学教室、²杏林大学医学部附属病院看護部、

³医療法人社団欣助会吉祥寺病院

2-P32-3 認知症介護者が困る実生活場面とケアに関する前向き調査

○赤松 正規¹、池田 由美¹、惣田 聡子¹、藤戸 良子¹、上村 直人²、峯瀬 正祥³、諸隈 陽子⁴、吉本 啓一郎⁵、中澤 宏之⁶、河合 亮⁷、數井 裕光¹

¹高知大学医学部神経精神科学講座、²高知大学保健管理センター医学部分室、

³高知県立あき総合病院、⁴一陽病院、⁵渡川病院、⁶南国病院、⁷海辺の杜ホスピタル

2-P32-4 有床総合病院精神科における認知症診療

○高沖 侑里、田中 秀弥、山下 大知、高橋 絵里花、瀬戸 愛生、小池 香、赤田 弘一、齋賀 孝久、佐藤 茂樹

成田赤十字病院精神神経科

2-P32-5 拒食、拒薬を呈したうつ状態を伴う高齢認知症患者に、経鼻胃管より投薬を行うことで良好な経過を得た1症例

○石井 寛邦、國芳 浩平

筑水会病院



15:40-16:40 **初期研修医・学部学生演題（ポスター）3**
研修医発表（3）

司会：三浦 至 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

2-KP3-1 **初対面の場における発達障害者の対人スキル向上のための
アバター活用社会参加支援の実際**

○小川 実里¹、冠地 信和¹、川田 恵²、吉川 雄一郎²、酒井 和紀²、内海 章³、
宮下 敬宏³、李 晃伸⁴、谷口 大輔⁵、塚崎 稔⁵、石黒 浩²、熊崎 博一¹

¹長崎大学医学部精神神経科学教室、²大阪大学大学院基礎工学研究科、
³株式会社国際電気通信基礎技術研究所、⁴名古屋工業大学大学院工学研究科、⁵三和中央病院

2-KP3-2 **レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）オープンデータに基づく
認知症ケアの臨床疫学**

○木納 建慈¹、早川 達郎²、山田 昂平¹、佐竹 直子²、柳内 秀勝¹、吉村 健佑³、
酒匂 赤人¹

¹国立国際医療研究センター国府台病院総合内科、²国立国際医療研究センター国府台病院精神科、
³千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター

2-KP3-3 **レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）オープンデータを用いた
精神科デイケアの臨床疫学**

○相馬 有輝¹、早川 達郎²、佐竹 直子²、柳内 秀勝¹、吉村 健佑³、酒匂 赤人¹

¹国立国際医療研究センター国府台病院総合内科、²国立国際医療研究センター国府台病院精神科、
³千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター

2-KP3-4 **性別違和専門外来を受診した高校生の心理社会的特徴**

○佐藤 彩華¹、久保 みのり²、仲野 芳恵²、中島 弥哉子²、池田 官司³、河西 千秋²

¹市立札幌病院、²札幌医科大学医学部神経精神医学講座、³北仁会幹メンタルクリニック

2-KP3-5 **札幌医科大学附属病院における高度救命救急センターと神経精神科の連携**

○山崎 杏菜、石橋 竜太郎、佐野 智章、大江 開、柏木 智則、河西 千秋

札幌医科大学医学部神経精神医学講座

16:40-17:40 **一般演題（ポスター）33**
依存症（2）

司会：松崎 尊信 国立病院機構久里浜医療センター

2-P33-1 **自傷・自殺企図・過食嘔吐を繰り返す患者に対するハームリダクションの考えを
取り入れた治療介入**

○成瀬 暢也

埼玉県立精神医療センター

2-P33-2 処方薬の不適切使用に対するハームリダクションの考えを取り入れた治療介入
○成瀬 暢也
埼玉県立精神医療センター

2-P33-3 若年者の市販薬「オーバードーズ」にどう介入するか
○成瀬 暢也
埼玉県立精神医療センター

2-P33-4 Covid - 19 蔓延がギャンブル依存症患者に与えたギャンブル行動の変化と今後の展望
○西村 光太郎、古野 悟、岡田 瞳、高山 輝大、松崎 尊信、松下 幸生、樋口 進
独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

2-P33-5 ギャンブル障害の背景に前頭葉脳腫瘍の関与が考えられた一例
○小松 弘二、山梨 豪彦、岩田 正明
鳥取大学医学部附属病院精神科

16:40-17:40 一般演題 (ポスター) 34
地域精神科医療 (2)

司会：岡崎 大介 北海道立精神保健福祉センター

2-P34-1 メディケーションフリー・トリートメントの試み
○小林 幹穂¹、大嶋 高昭¹、矢原 隆行²
¹ほしのマロニエこころのクリニック、²熊本大学大学院人文社会科学部

2-P34-2 GMC 五稜会病院ストレスケア病棟の今日までそして明日から
○千丈 雅徳、中島 公博
五稜会病院

2-P34-3 八重山レポート
○草西 俊
沖縄県立八重山病院

2-P34-4 過量服薬で当院に搬送された患者背景の変化：企図の若年化と市販薬の増加
○北野 陽大、平田 真之将、中川 聖太、船井 翔平、岡村 和哉、上西 優介、山田 信一、
紀本 創兵
和歌山県立医科大学医学部神経精神医学教室

2-P34-5 日本医科大学付属病院精神神経科における再入院患者の再燃・再発要因の
後方観察研究
○黒田 理花、駒井 裕弥、大高 靖史、山本 憲、坂寄 健、館野 周
日本医科大学付属病院精神神経科



2-P34-6 精神疾患のある人が栄養指導にアクセスすることを支援する教育ツール開発に関する研究

○下村 裕見子¹、大石 智²、横尾 英孝³、大西 俊一郎⁴、赤穂 理絵⁵、稲田 健²

¹北里大学大学院医療系研究科臨床医科学群精神科学、²北里大学医学部精神科学、

³鹿児島大学大学院医歯学総合研究科医歯学教育開発センター、

⁴国際医療福祉大学医学部糖尿病・代謝・内分泌内科、⁵東京女子医科大学医学部精神医学講座

16:40-17:40 初期研修医・学部学生演題（ポスター）4
医学生発表

司会：岸本 泰士郎 慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座

2-KP4-1 健常者における脳機能的結合と BACS-J 所見の関連

○山口 詩織¹、川崎 康弘¹、川村 梨彩子¹、河本 理伽¹、小出 蓉子¹、大畑 郁乃¹、
妹尾 貴紀¹、片岡 譲¹、嶋田 貴充^{1,2}、橋本 玲子¹、長澤 達也¹、上原 隆¹

¹金沢医科大学精神神経科学、²医療法人積仁会岡部病院

2-KP4-2 異なる臨床症状を呈した有棘赤血球舞蹈病の一卵性双生姉妹例に関する経過報告

○牧角 咲希¹、齊之平 一隆²、田川 真一朗²、崎元 仁志²、浦田 結嘉²、新井 薫²、
石塚 貴周²、佐々木 なつき²、福原 竜治²、中村 雅之²

¹鹿児島大学医学部医学科、²鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野

2-KP4-3 統合失調症患者への CG ロボット（CGCommU）を用いたオンライン対話の有用性についての検討

○大石 佳奈¹、冠地 信和¹、川田 恵²、吉川 雄一郎²、酒井 和紀²、谷口 大輔³、塚崎 稔³、
石黒 浩²、熊崎 博一¹

¹長崎大学医学部精神神経科学教室、²大阪大学大学院基礎工学研究科、³三和中央病院

2-KP4-4 大学病院精神科初診患者における不眠と便秘との関連：
連続症例を対象とした検討

○友田 英里¹、金子 宜之²、小嶋 悠太²、藤井 伸邦²、大槻 怜²、鈴木 貴浩²、
金森 正²、鈴木 正泰²

¹日本大学医学部、²日本大学医学部精神医学系